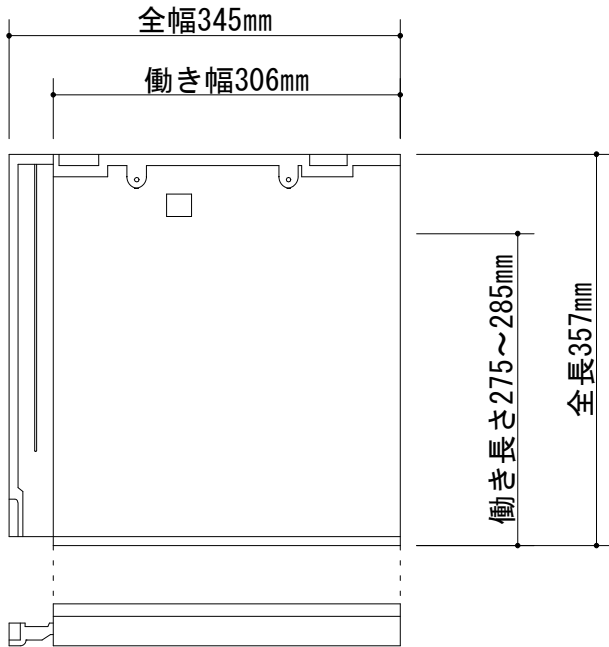


## II. 平板施工

### 1) 製品仕様書

#### ①-1 商品形状・寸法<スーパーセラストレート>

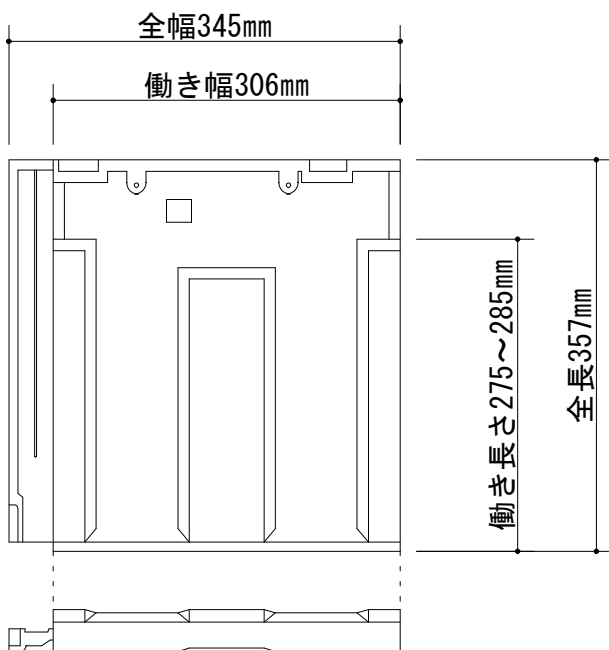


■標準色  
 ブラック  
 ブラウン  
 新銀

項目		仕様
寸法	全長	357±4
	全幅	345±4
	働き長さ	275~285
	働き幅	306±4
棧瓦の重量		約3.9kg
3.3㎡当りの重量		約156kg
3.3㎡当りの枚数		約40枚
屋根勾配		4/10 以上
梱包枚数		324枚/パレット

注：文中で、スーパーセラストレートは、SCSと記述。

#### ①-2 商品形状・寸法<スーパーセラブライト>



■標準色  
 ブラック  
 ブラウン  
 新銀  
 ラスティーグリーン

■別注色  
 クラシック・オレンジ  
 クラシック・アイボリー  
 クラシック・チェスナット  
 クラシック・グリーン

■特注色  
 いぶし

項目		仕様
寸法	全長	357±4
	全幅	345±4
	働き長さ	275~285
	働き幅	306±4
棧瓦の重量		約3.9kg
3.3㎡当りの重量		約156kg
3.3㎡当りの枚数		約40枚
屋根勾配		4/10 以上
梱包枚数		324枚/パレット

注：文中では、スーパーセラブライトは、SCBと記述。

## II. 平板施工

### 1) 製品仕様書

#### ①-3 商品形状・寸法〈スーパーセラユー〉

■標準色  
 ブラック  
 ブラウン  
 新銀  
 ラスティーグリーン

■別注色  
 プロヴァンスカラー  
 プロヴァンスブランチ

項目		仕様
寸法	全長	357±4
	全幅	345±4
	働き長さ	275~285
	働き幅	306±4
棧瓦の重量		約3.9kg
3.3㎡当りの重量		約156kg
3.3㎡当りの枚数		約40枚
屋根勾配		3/10 以上
梱包枚数		324枚/パレット

注：文中では、スーパーセラユーは、SCUと記述。

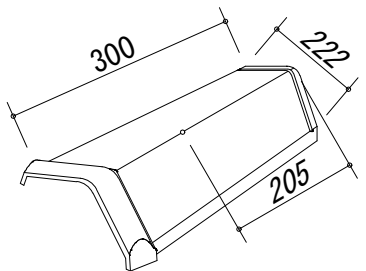
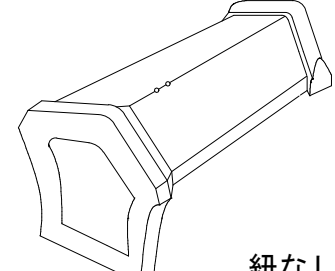
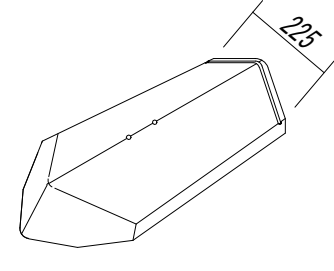
#### ② 付属部資材

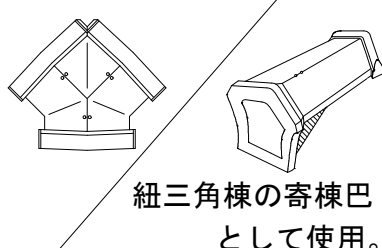
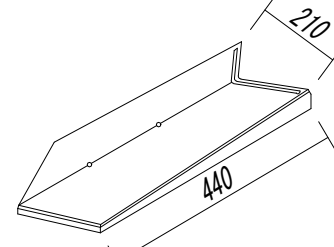
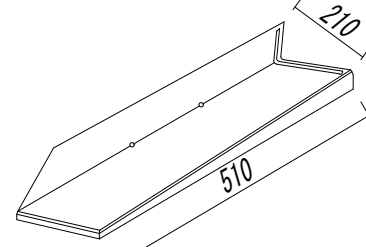
	袖瓦・左（平板共用）	袖瓦・右（平板共用）	長袖瓦・左（平板共用）
形状			
材質	粘土瓦	粘土瓦	粘土瓦
梱包	4枚1束	4枚1束	1枚
	長袖瓦・右（平板共用）	角瓦・左（平板共用）	角瓦・右（平板共用）
形状			
材質	粘土瓦	粘土瓦	粘土瓦
梱包	1枚	1枚	1枚

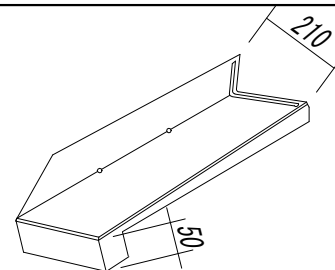
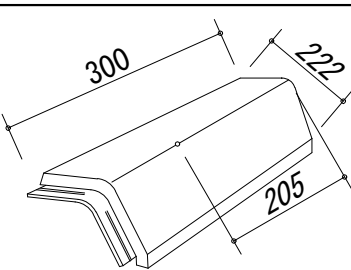
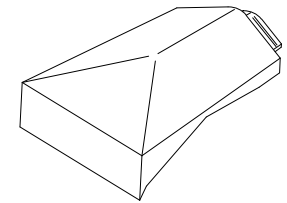
## II. 平板施工

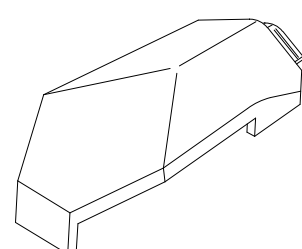
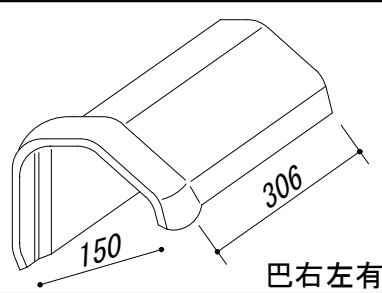
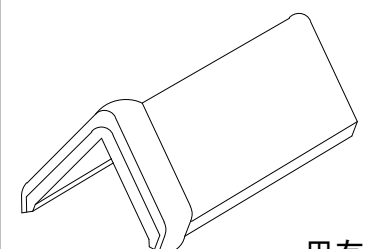
### 1) 製品仕様書

### ② 付属部資材

	紐三角棟 (平板共用)	紐三角棟巴 (平板共用)	紐三角棟カッポン (平板共用)
形状			
材質	粘土瓦	粘土瓦	粘土瓦
梱包	3枚1束	1枚	1枚

	三つ又 / アゴ巴	差し棟 (SCB・SCS)	長差し棟 (SCB・SCS)
形状			
材質	粘土瓦	粘土瓦	粘土瓦
梱包	1枚	3枚1束	2枚1束

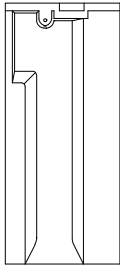
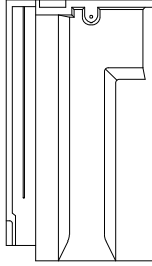
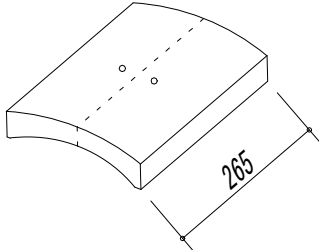
	差し棟止 (SCB・SCS)	素三角棟	素三角寄棟止
形状			
材質	粘土瓦	粘土瓦	粘土瓦
梱包	2枚1束	3枚1束	1枚

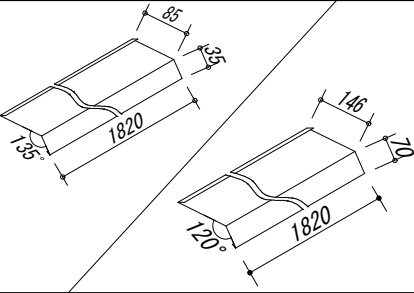
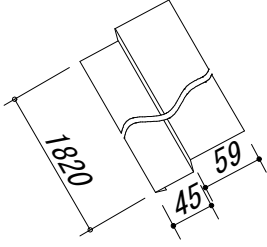
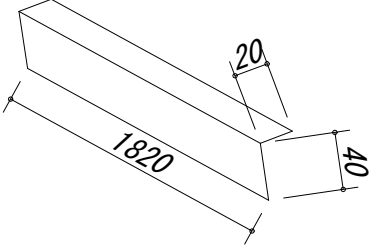
	新素三角寄棟止	片流れ棟	急勾配用棟
形状			
材質	粘土瓦	粘土瓦	粘土瓦
梱包		2枚1束	2枚1束

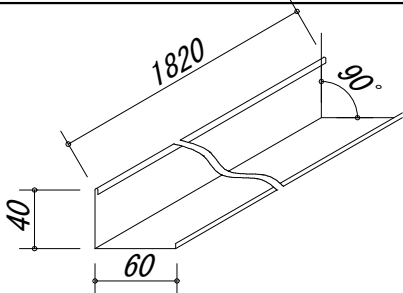
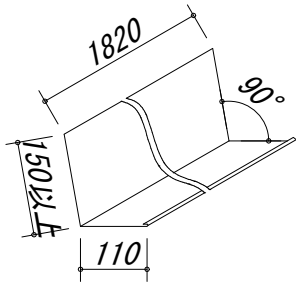
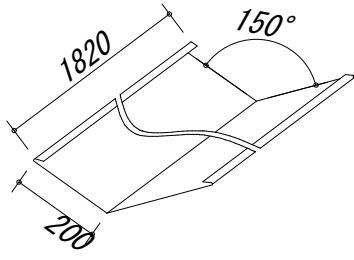
## II. 平板施工

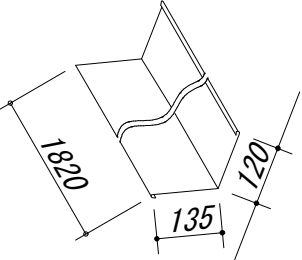
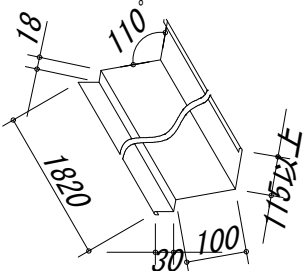
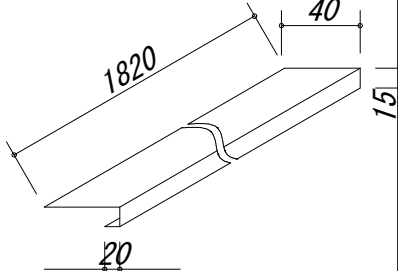
### 1) 製品仕様書

### ② 付属部資材

	半瓦・左 (SCU)	半瓦・右 (SCU)	のし
形状			
材質	粘土瓦	粘土瓦	粘土瓦
梱包	3枚1束	3枚1束	5枚1束

	軒先水切135° / 軒先水切120°	軒先水切 (T型)	メンド板金
形状			
材質	ガルバリウム鋼板	ガルバリウム鋼板	ガルバリウム鋼板
梱包	20本/箱	20本/箱	20本/箱

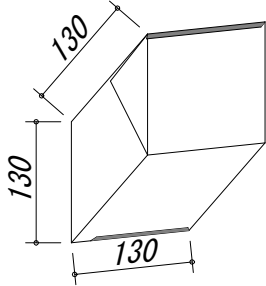
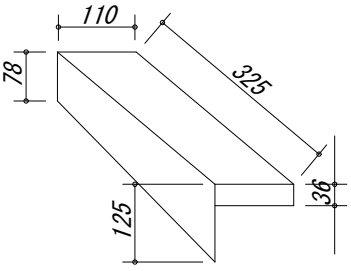
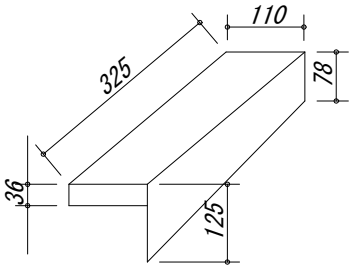
	ケラバ捨水切	L型捨水切	谷板水切
形状			
材質	ガルバリウム鋼板	ガルバリウム鋼板	ガルバリウム鋼板
梱包	30本/箱	20本/箱	10本/箱

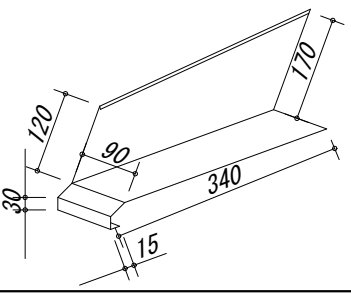
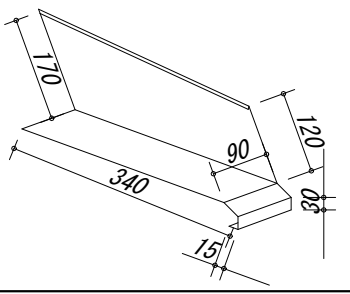
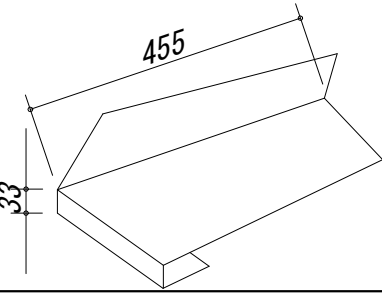
	雨押 (L型)	雨押 (笠木用)	被覆鋼板
形状			
材質	ガルバリウム鋼板	ガルバリウム鋼板	ガルバリウム鋼板
梱包	10本/箱	10本/箱	40本/箱

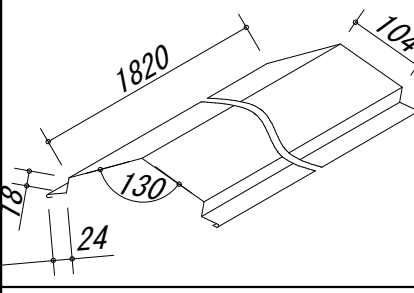
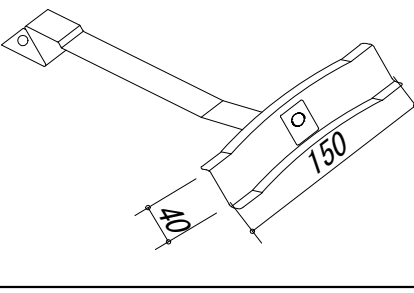
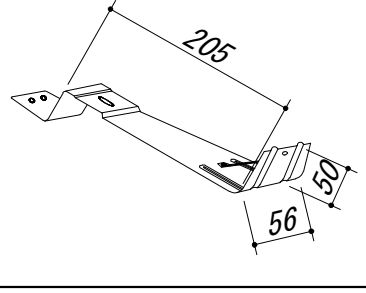
## II. 平板施工

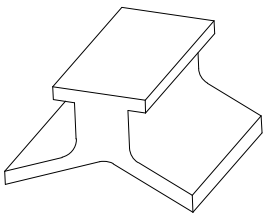
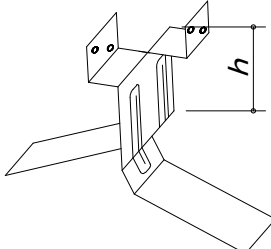
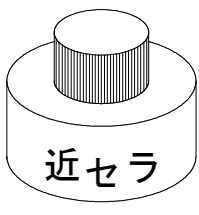
### 1) 製品仕様書

### ② 付属部資材

	壁止まり板金	メタル袖・左 (SCS・SCB)	メタル袖・右 (SCS・SCB)
形状			
材質	ガルバリウム鋼板	ガルバリウム鋼板	ガルバリウム鋼板
梱包		40本/箱	40本/箱

	流れ壁メタル左 (SCS・SCB)	流れ壁メタル右 (SCS・SCB)	隅棟メタル (SCS・SCB)
形状			
材質	ガルバリウム鋼板	ガルバリウム鋼板	ガルバリウム鋼板
梱包	40本/箱	40本/箱	30本/箱

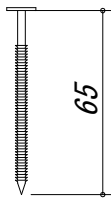
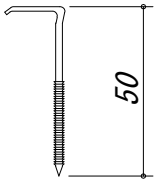
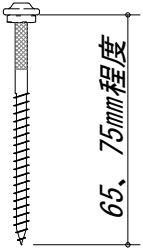
	棟包	雪止め金具(アルファCB型)	雪止め金具(シャイン1型)
形状			
材質	ガルバリウム鋼板	カラーステンレス (ブラック)	カラーステンレス (ブラック)
梱包	10本/箱	100本/箱	100本/箱


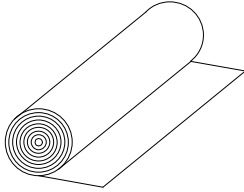
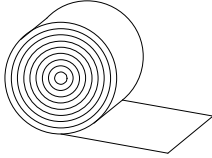
	樹脂棟	棟補強金物	補修用塗料
形状	 h=20、40、60、80、95	 棟補強金物 h=0、40、60、80、95、115	 近セラ
材質	樹脂	ステンレス	油性塗料
梱包	100個/箱	100個/箱	


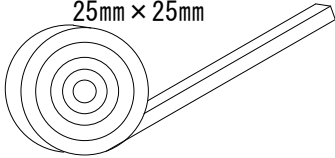
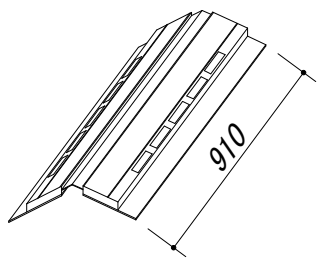
## II. 平板施工

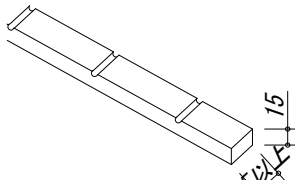
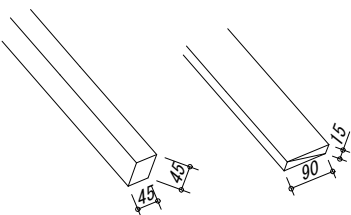
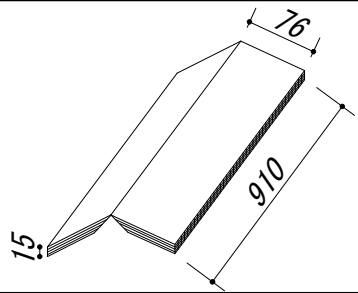
### 1) 製品仕様書

### ② 付属部資材

	棧瓦用ステンレスリング釘	軒先ステンレス7形釘	パッキン付ステンレスネジ
形状			
材質	ステンレス	ステンレス	ステンレス
梱包	約4kg	200本	100本

	棧木用釘	ルーフィング (ゴムアス)	防水テープ
形状			
材質	ステンレス	改質アスファルトルーフィング	ブチルゴム系粘着材使用
梱包	約4kg		ブチル粘着

	シーリング材 (コーキング)	シーラー (EPDM)	換気スター
形状	 コニシ(株) 瓦止太郎、もしくは同等品	袖部 15mm×20mm (15mm) 谷部 30mm×30mm 壁際部 15mm×20mmもしくは、 25mm×25mm 	
材質	変性シリコン	EPDM	ポリプロピレン
梱包		1箱 (20本)	天井面積30.72㎡分/910mm

	瓦棧	棟・隅棟下地、笠木	アンダーベンツ
形状	 高さ15×幅25以上で水抜き孔を下部にして使用 ※瓦棧下木摺 (ルーフトープ) は不要	 30×40でも可	
材質	木製	木製	ポリプロピレン
梱包			天井面積35.0㎡分/910mm

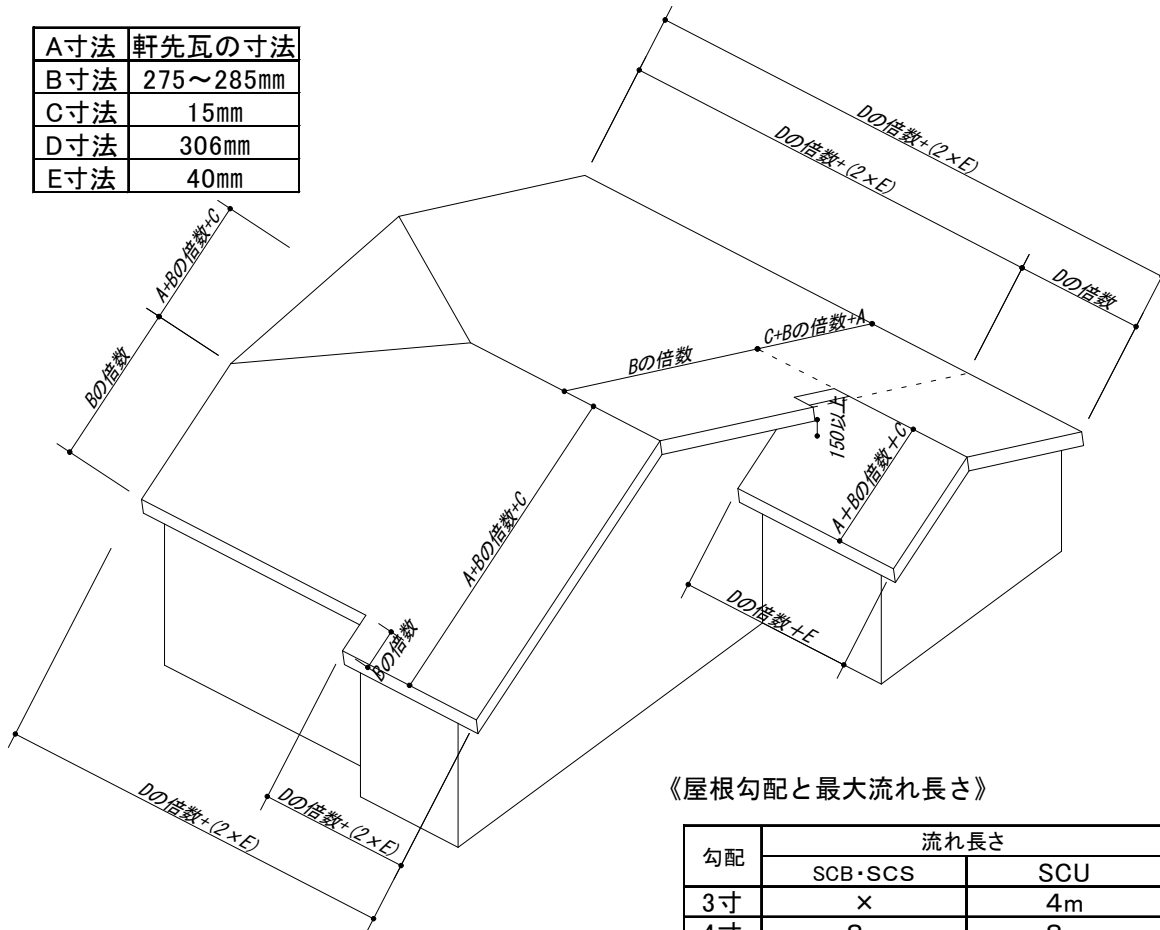
## II. 平板施工

### 2) 野地合板の割付け

#### ① 野地合板の割付け

桁行寸法はDの倍数+ $(2 \times E)$ で屋根寸法を決めてください。  
 流れ寸法はA+Bの倍数+Cで屋根寸法を決めてください。

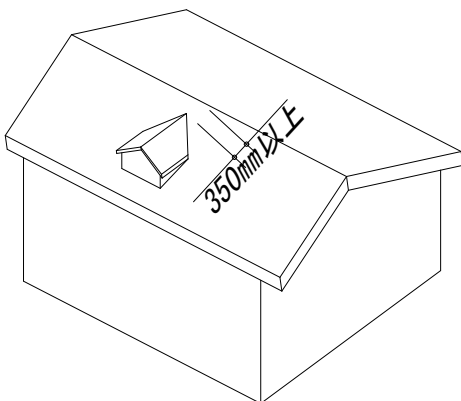
A寸法	軒先瓦の寸法
B寸法	275~285mm
C寸法	15mm
D寸法	306mm
E寸法	40mm



《屋根勾配と最大流れ長さ》

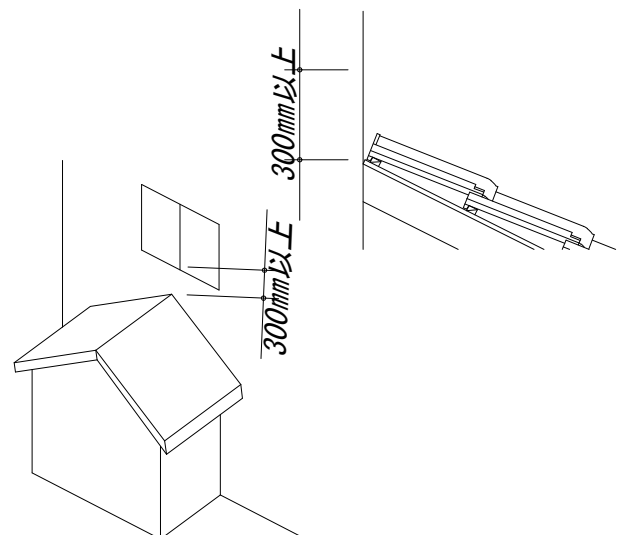
勾配	流れ長さ	
	SCB・SCS	SCU
3寸	x	4m
4寸	8m	8m
5寸	12m	12m
6寸	17m	17m

#### ドーマー部



※V谷頂点と陸棟の間隔を350mm以上あけてください。

#### サッシ下切替部



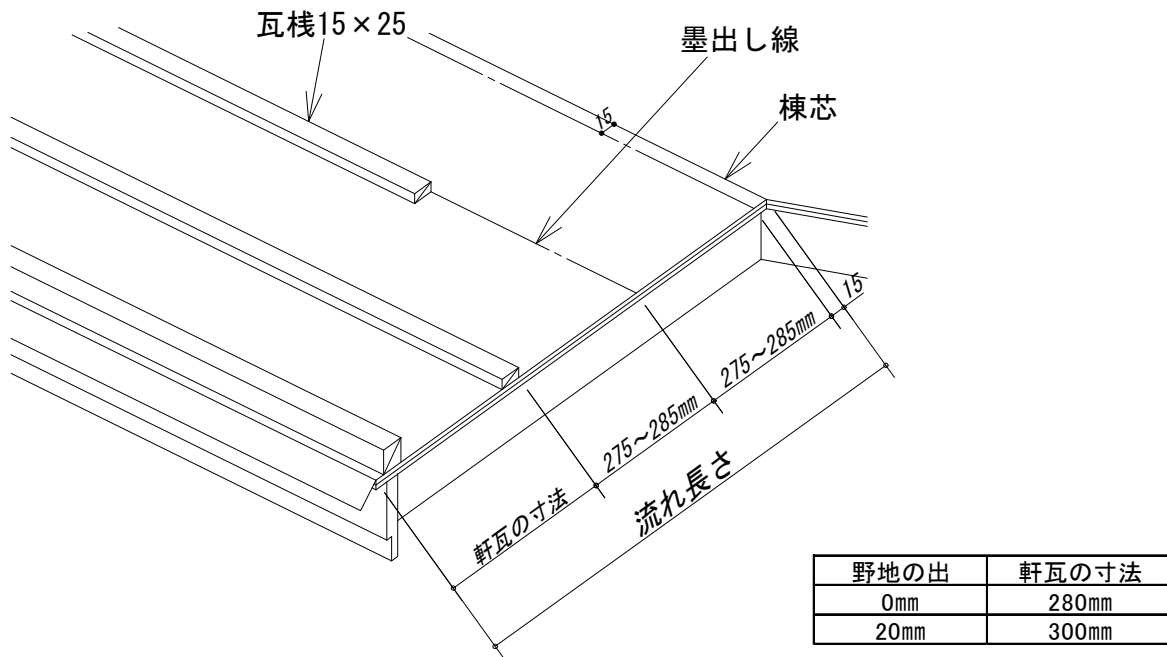
※棟頂点とサッシの間隔を300mm以上あけてください。

## II. 平板施工

### 3) 屋根下地の施工

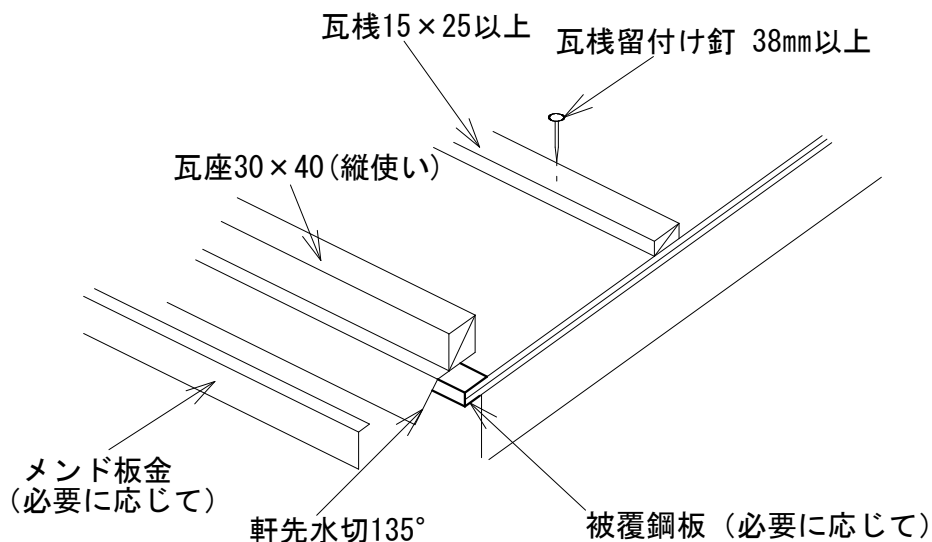
#### ① 平部

- (1) 軒先1段目の瓦棧間隔は、軒先瓦の働き寸法に従い墨打ちをする。
- (2) 棟部では、棟芯より15mm下がったところに墨打ちをする。
- (3) 2段目以降は、275~285mmで均等に割付けて墨打ちをする。



#### ② 軒先（軒先水切135° 瓦座仕様）

- (1) 瓦棧は、15×25mm以上を使用する。
- (2) 瓦棧の水抜き孔を下部にして上端を正確に墨に合わせ、垂木ピッチで釘打ちをする。  
(ルーフトープ等のスペーサーを使用しない場合)
- (3) 瓦座も、瓦棧と同様に水抜き処理をする。
- (4) 瓦座の固定は、必ず垂木ピッチとする。



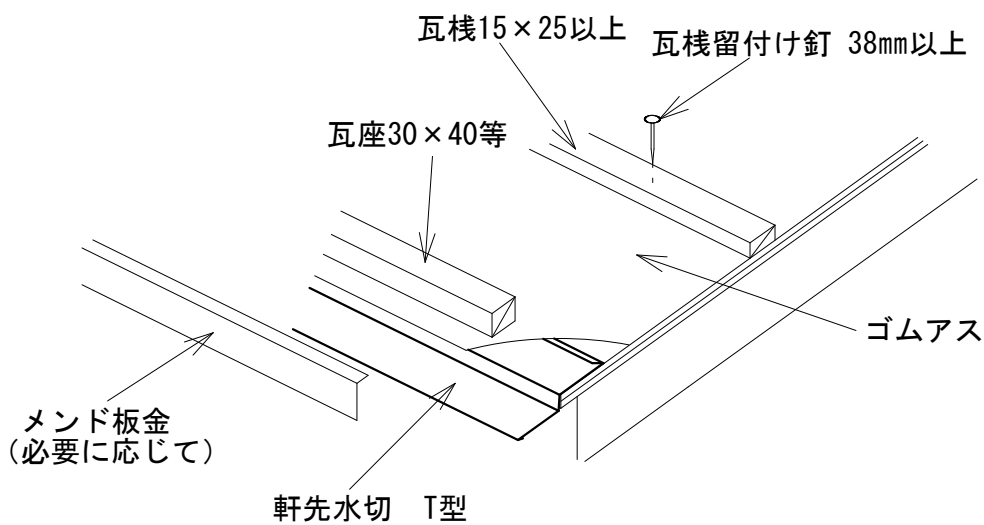


## II. 平板施工

### 3) 屋根下地の施工

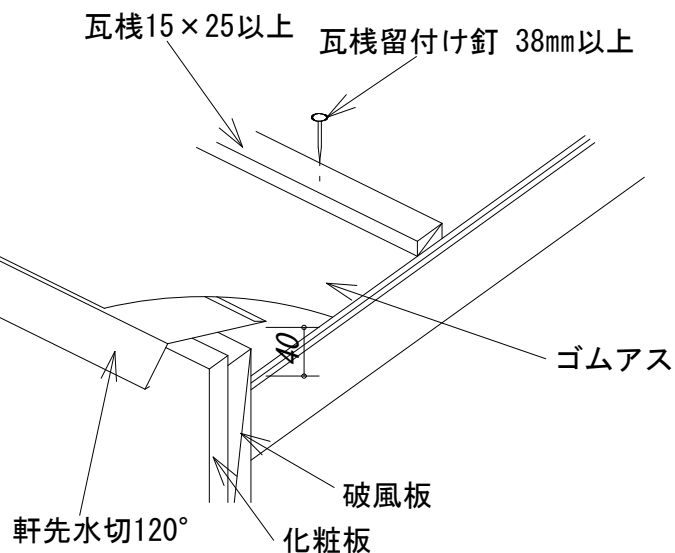
#### ③ 軒先（軒先水切 T型、瓦座仕様）

- (1) 瓦座は、 $30 \times 40$ mm等を使用する。
- (2) 軒先水切→ゴムアス→瓦座の順に施工していく。
- (3) 必要に応じて、野地の被覆鋼板を取り付ける。
- (4) 瓦座も、瓦棧と同様に水抜き処理をする。
- (5) 瓦座の固定は、必ず垂木ピッチとする。



#### ④ 軒先（化粧仕舞）

- (1) 化粧板を野地板より $40\text{mm}$ 上げる。
- (2) 軒先水切→ゴムアスの順に施工していく。

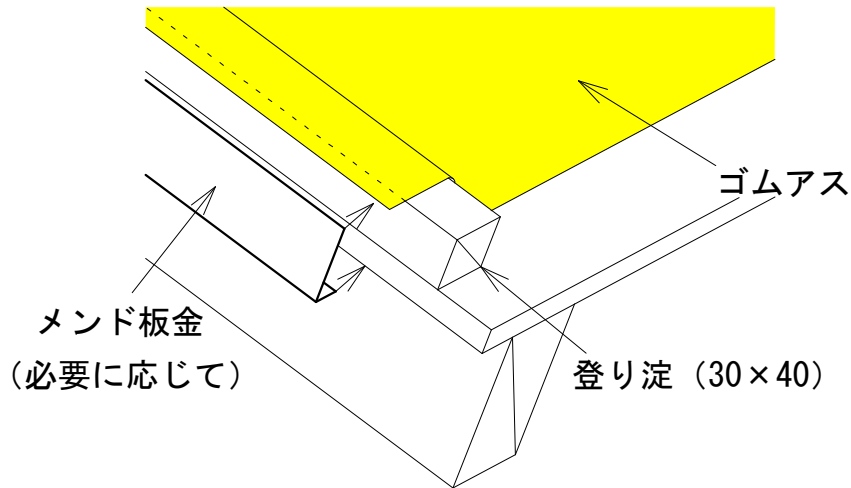


## II. 平板施工

### 3) 屋根下地の施工

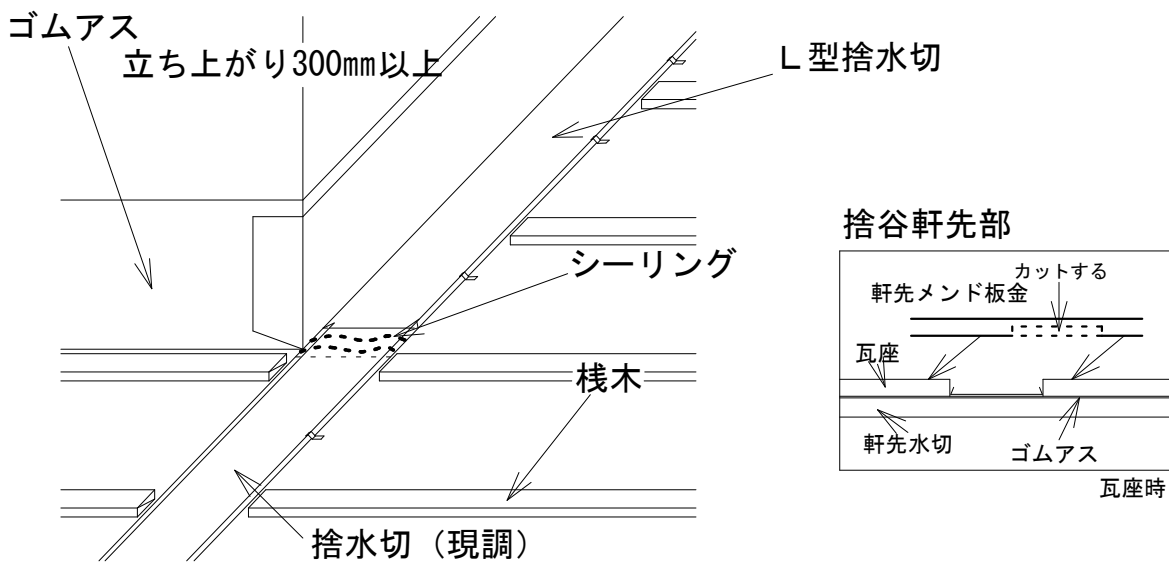
#### ⑤ ケラバ部

- (1) メンド板金の曲がっている方向を下にし、野地・登り淀を被覆する。
- (2) ゴムアスは、登り淀を包み込むように施工する。
- (3) ケラバ捨水切を取付ける。



上図メンド板金は、必要に応じて取付ける。

#### ⑥ 捨水切・流れ壁際部

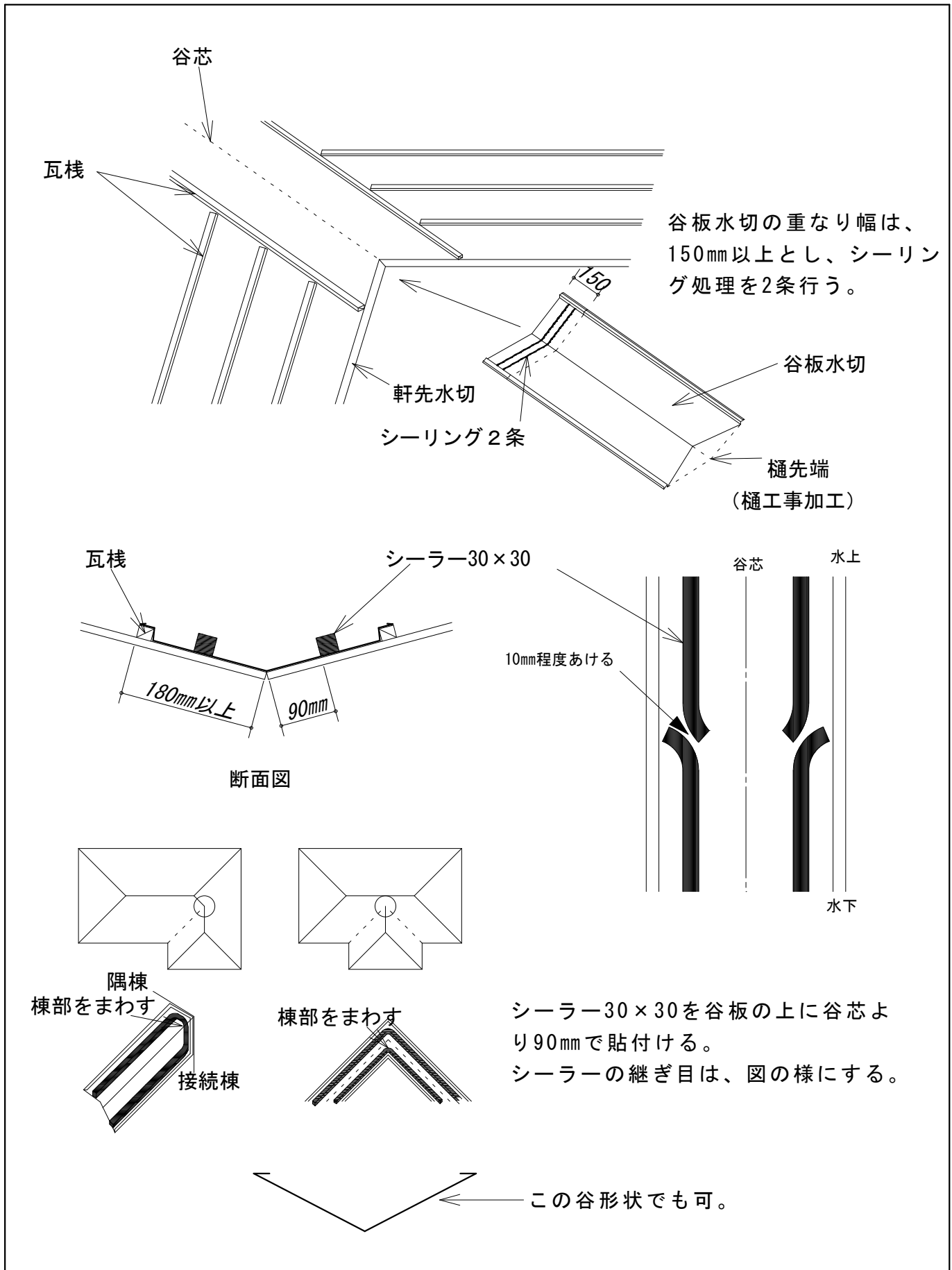


- (1) 流れ壁際には、L型捨水切を取付ける。
- (2) 上図のような上階出隅部の捨水切端部は、現場にて加工を行う。
- (3) 上図のような上階出隅部の軒先部は、瓦座を切断し捨水切端部を通す。  
軒先メンド板金は、捨水切端部分の水流れを確保するようにをカットする。  
(右上図)

## II. 平板施工

### 3) 屋根下地の施工

#### ⑦ 谷部

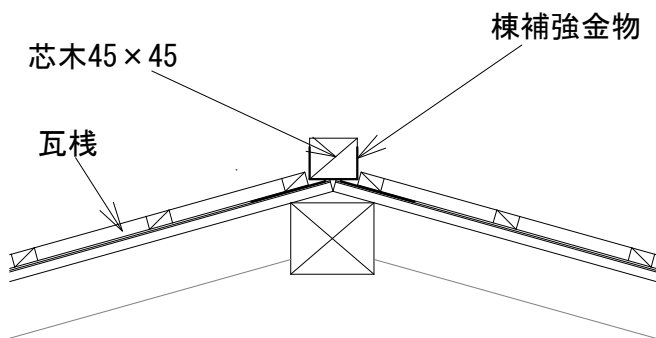
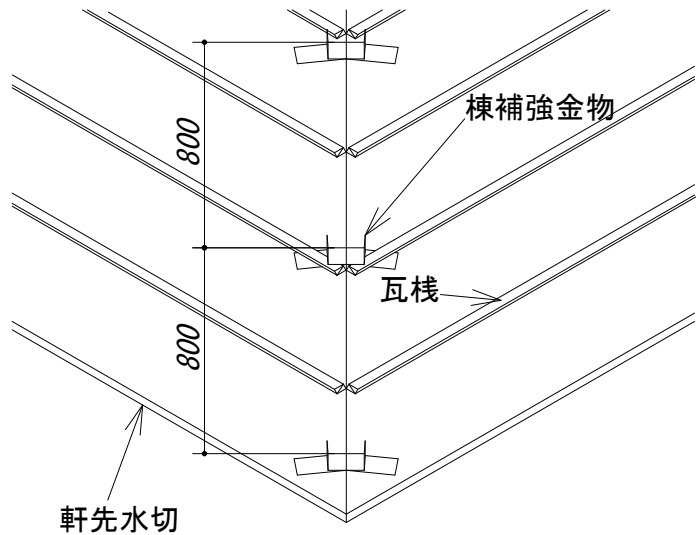


## II. 平板施工

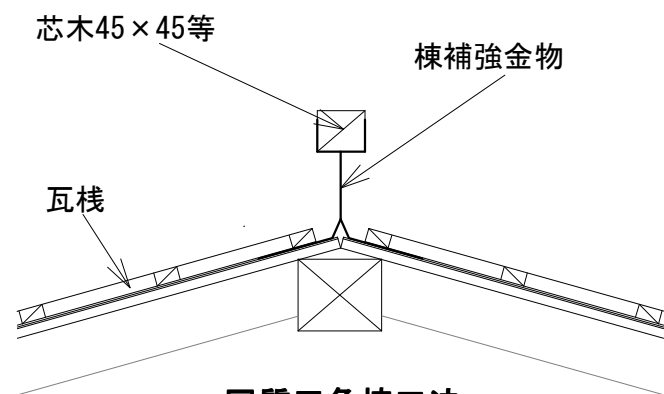
### 3) 屋根下地の施工

#### ⑧ 隅棟部

棟補強金物は、800mm以内のピッチにて、留付ける。



**メタル・差し棟工法 (SCS・SCB)**



**同質三角棟工法**

- (1) メタル・差し棟工法の場合、棟補強金物は  $h = 0$  (高さ 0mm) を使用する。  
樹脂木は、 $h = 20$  を使用。
- (2) 棧瓦を施工後、防水テープを貼付ける。
- (3) 紐三角棟仕様の場合は、 $h = 60 \cdot 80$  (高さ) の棟補強金物を使用する。
- (4) 棟補強金物の野地への取付け芯木の取付けは、ネジで行う。
- (5) 45×45の芯木の場合  $h = 60$  (高さ 60mm)

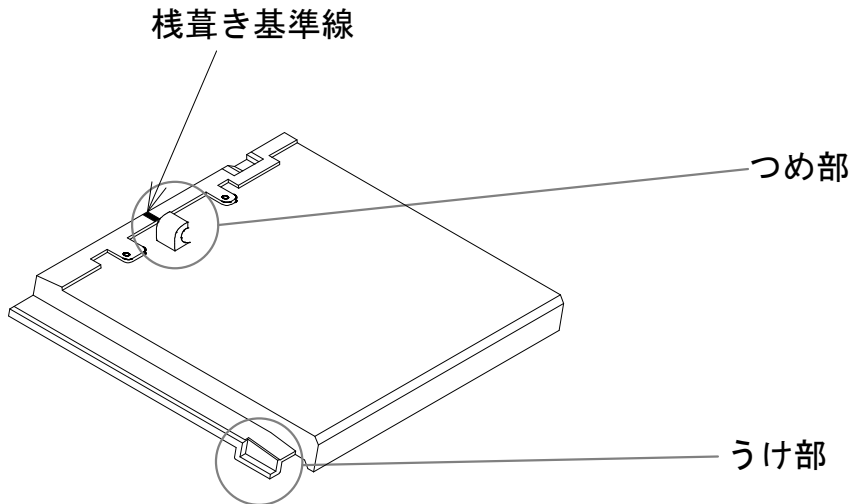
注：補強金物は、瓦棧を打つ前に取付ける。

注：補強金物は、ステンレス製 (SUS430同等以上) を使用する。

## II. 平板施工

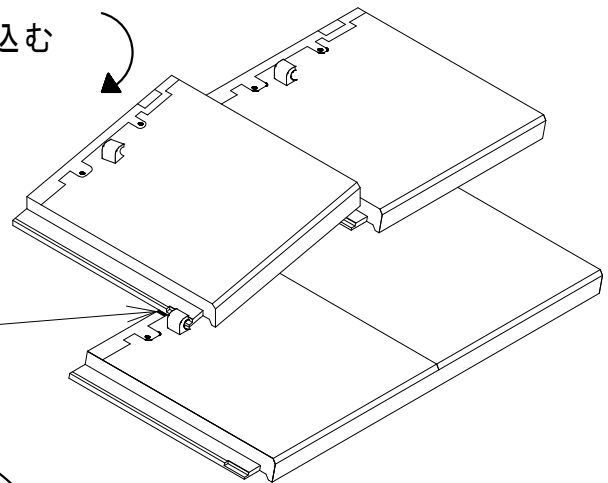
### 4) 屋根材の施工

#### ① 平部



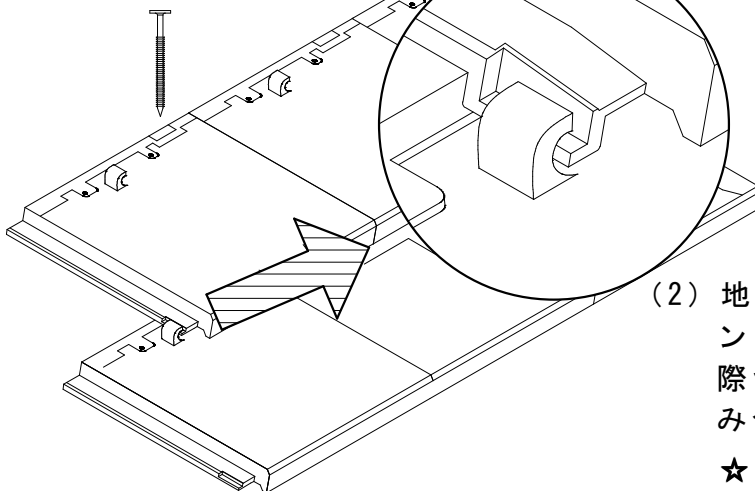
つめ部に引っ掛けるように差し込む

- (1) 地瓦を施工する際、つめ部に水切りのつめ部が組み合わせ、棧葺き基準線を目安に施工する。(右図のように施工すると葺きやすい。)



棧葺き基準線

ステンレス  
リング釘65mm以上



- (2) 地瓦を1列並べたあと、65mmのステンレスリング釘にて留付ける。その際つめ部と、うけ部がしっかりと組み合わされているかを確認する。

☆ 全枚1本釘打ちを行う。

#### 施工上の注意

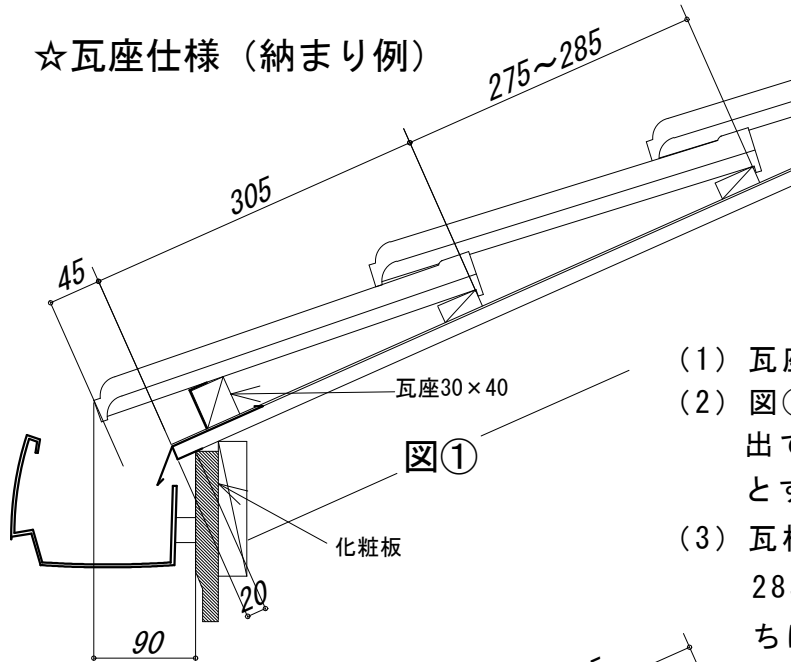
- ① 登り働き長さを275~285mmとする。
- ② すがり部分などは、割付けを事前にお打ち合わせをして下さい。
- ③ SCUにおいて4/10勾配未満の場合、瓦の登り寸法を275mmとする。

## II. 平板施工

### 4) 屋根材の施工

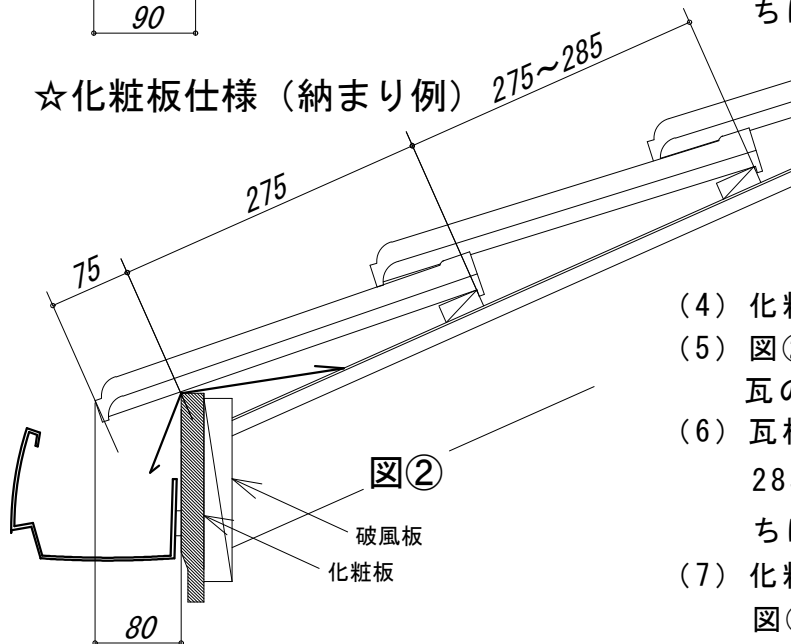
#### ② 軒先部

##### ☆瓦座仕様（納まり例）

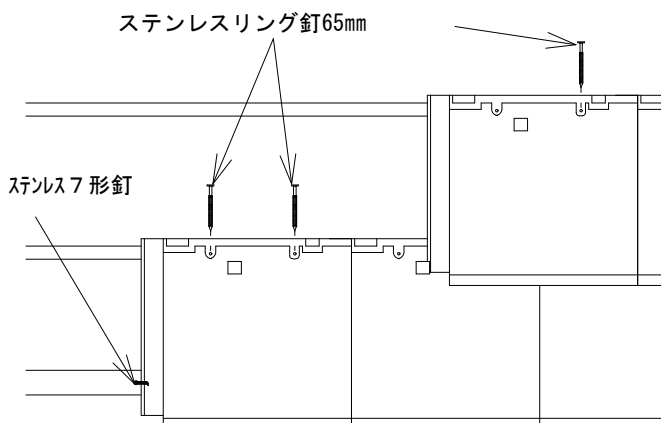


- (1) 瓦座の高さは、40mmとする。
- (2) 図①の様に化粧板より野地板が20mm出ている場合は、軒瓦の出を45mmとする。
- (3) 瓦棧の登り方向の取付けは275mm～285mmの間隔で行い、桁方向の釘打ちは、垂木のピッチで行う。

##### ☆化粧板仕様（納まり例）



- (4) 化粧板の高さは、40mmとする。
- (5) 図②の様に化粧板仕様の場合、軒瓦の出を75mmとする。
- (6) 瓦棧の登り方向の取付けは275mm～285mmの間隔で行い、桁方向の釘打ちは、垂木のピッチで行う。
- (7) 化粧板より瓦の軒先水平寸法を図①②の様に80mm～100mm程度にする。
- (8) 瓦と樋の取り合いは、工務店・ハウスメーカーにより異なります。十分打ち合わせの上、軒瓦の出を決めてください。
- (9) 軒先瓦は、左図のようにステンレス7形釘 50mmを使用し、3点留めにする。

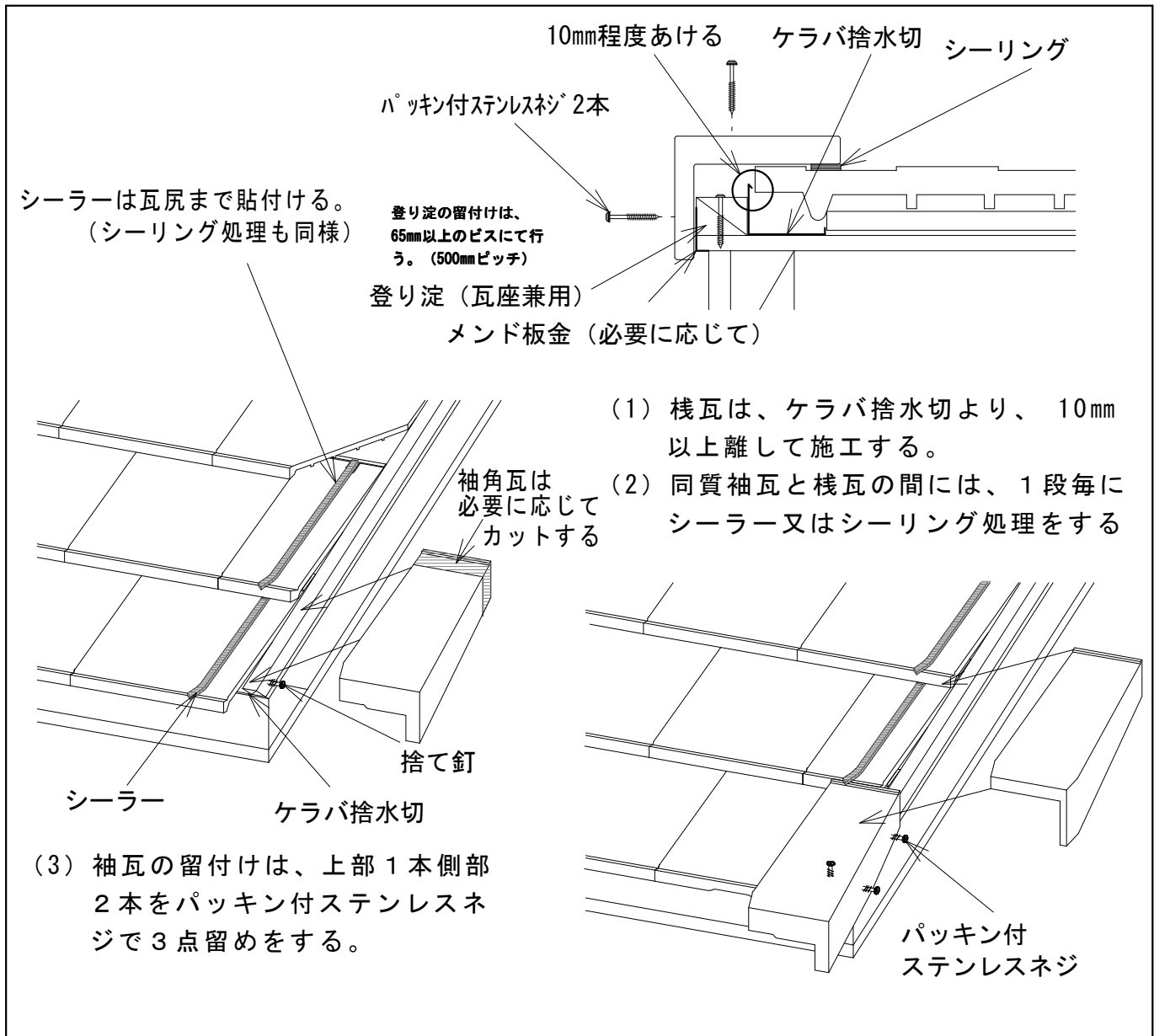


(1段目のみ)

## II. 平板施工

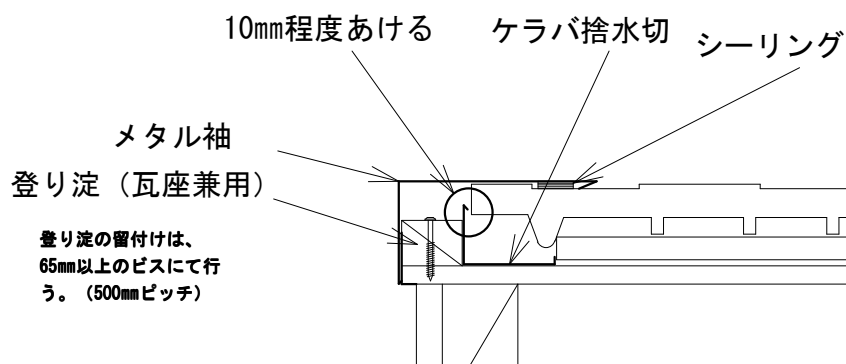
### 4) 屋根材の施工

#### ③ ケラバ部・同質工法



#### ④ ケラバ部・メタル工法

＜メタル工法は、スーパーセラブライト、スーパーセラストレートのみ＞

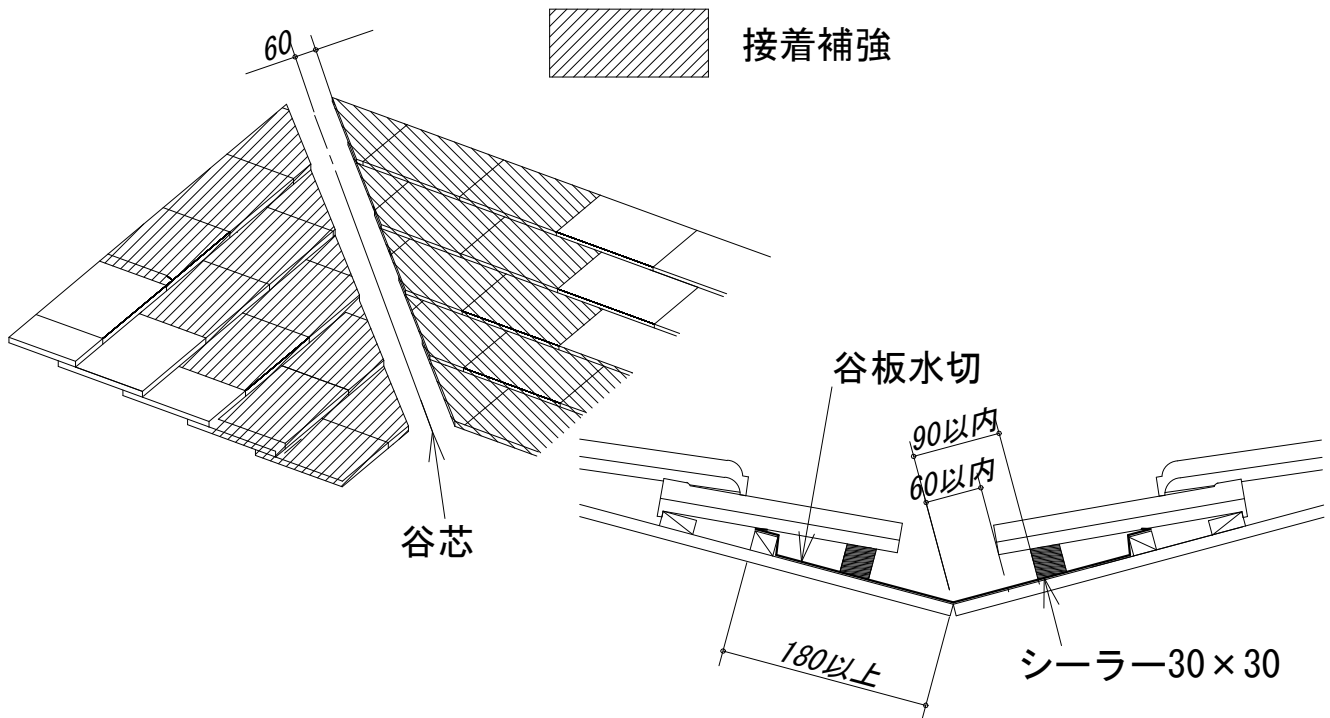


- (1) 棧瓦は、ケラバ捨水切より、10mm程度離して施工する。
- (2) メタル袖と棧瓦の間にはシーリング処理をする。メタル袖の留付けは、側部1本をステンレス釘にて留付ける。

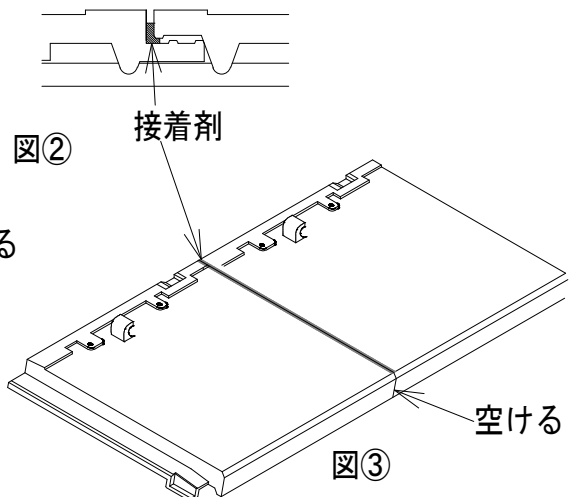
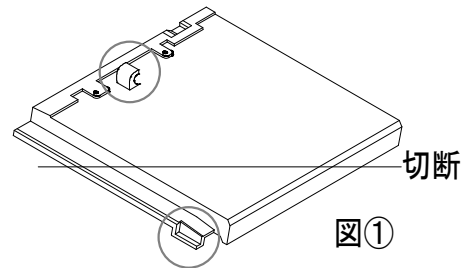
## II. 平板施工

### 4) 屋根材の施工

#### ⑤ 谷部



- (1) 谷部において、谷芯に沿って瓦を切断するため、防災機能が損なわれる瓦が多く発生する。(右図①)
- (2) 従いまして、谷部の補強として谷芯より3枚目までの瓦は、右図②及び③の様に、隣の瓦と瓦用接着剤等にて接着する。
- (3) 釘打ちできる瓦は、今までどおり釘打ちを行う。



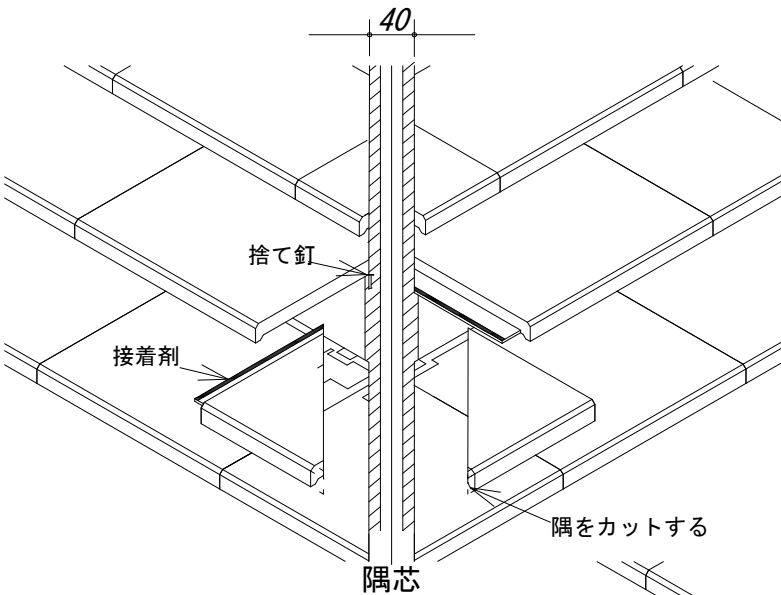
- (4) 又、急勾配になればなるほど、谷芯の隙間より風の巻上げがきつくなる為、出来るだけ瓦同士の谷の隙間を少なくする。



## II. 平板施工

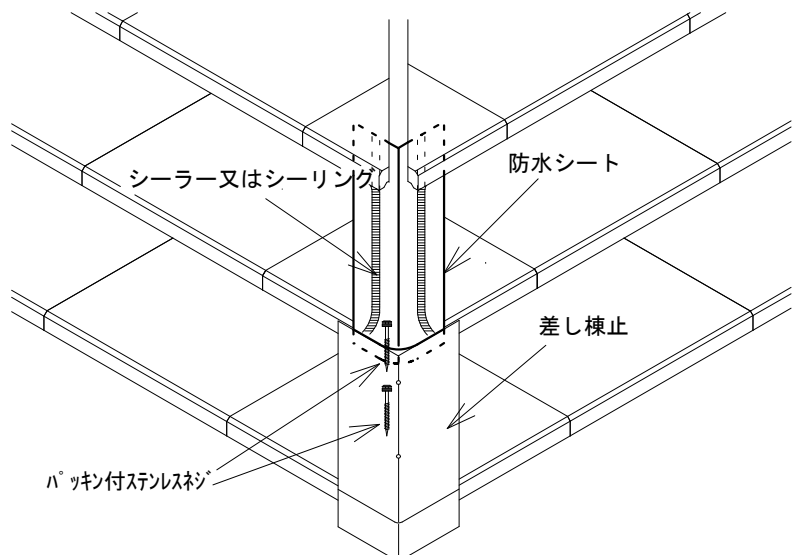
### 4) 屋根材の施工

#### ⑥ 隅棟部・差し棟工法

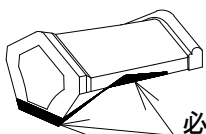


- (1) 隅部では、瓦のカット面の隙間を小さく納める。
- (2) 隅部の切瓦の固定は、屋根用接着剤を用い隣の釘止めしている瓦と十分に接着する。
- (3) カットした瓦で釘止めできる瓦は、釘止めする。
- (4) カットした瓦の傾きや落ち込みは捨て釘等を打ちレベル調整をする。

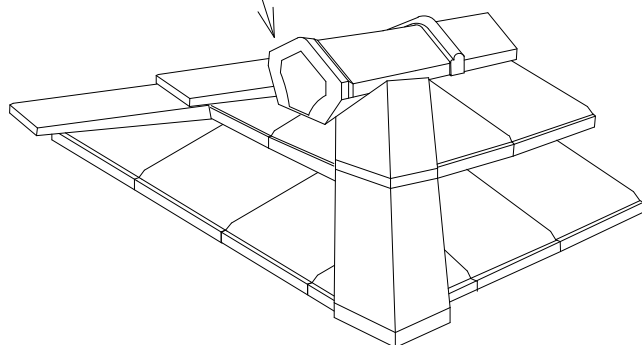
- (5) カットした瓦を取付けた後、瓦表面を清掃し図のように防水シートシーラーの順に取り付ける。  
(瓦尻の先まで)



- (6) 差し棟カッポンを使用しない場合は、隅棟メタルを施工後、差し棟を取り付ける。その際、差し棟は、隅棟メタルより10mm程度前を出す。

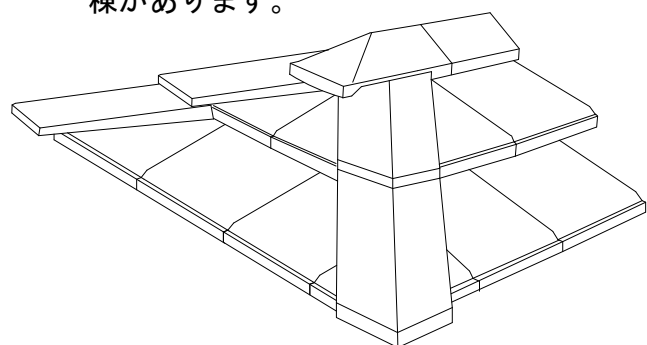


必要に応じてカットする



紐三角棟

- (7) 隅棟と陸棟が交わる部分は、寄棟巴を加工し取り付ける。
- (8) 寄せ棟巴の不陸は、葺き土（南蛮等）で調整する。
- (9) ブラック・ブラウン・新銀のみ素三角棟があります。

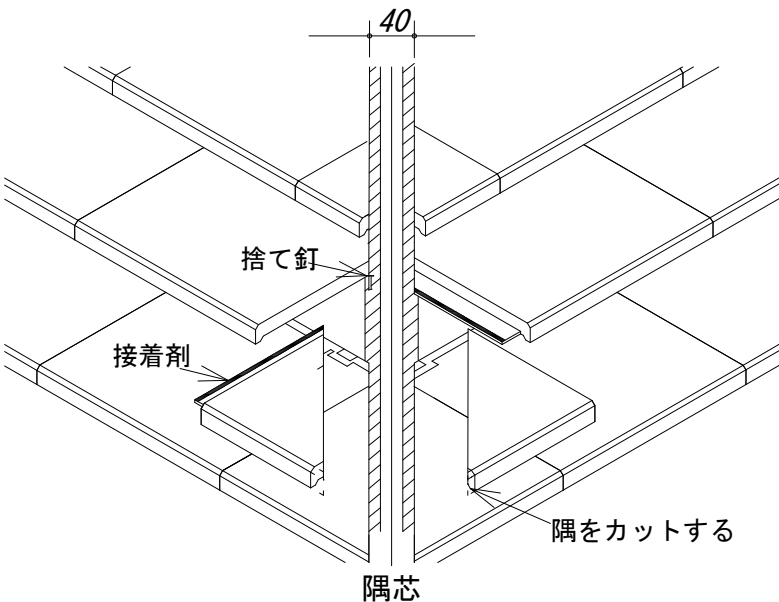


素三角棟

## II. 平板施工

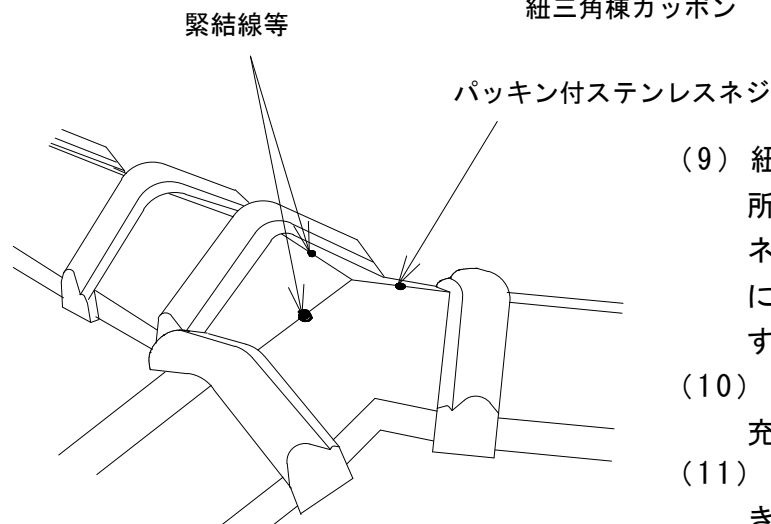
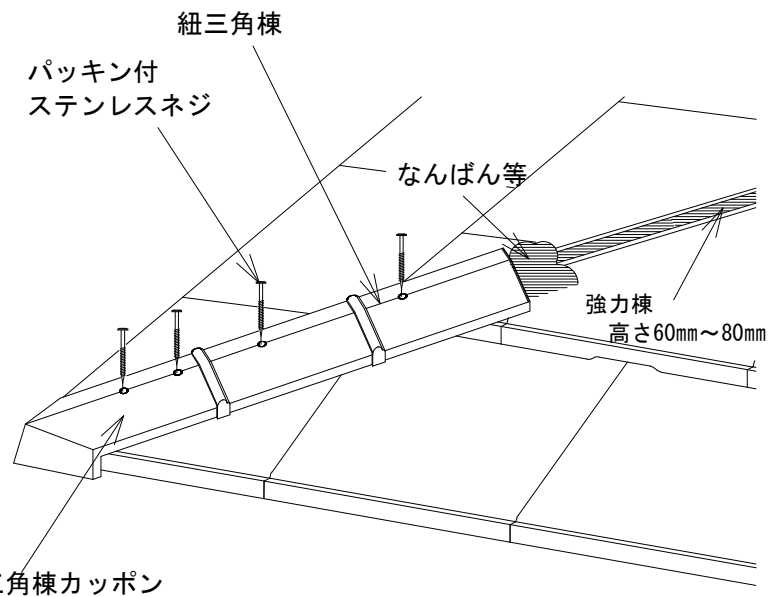
### 4) 屋根材の施工

#### ⑦ 隅棟部・同質紐三角棟工法



- (1) 隅部では、瓦のカット面の隙間を40mm程度に納める。
- (2) 隅部の切瓦の固定は、屋根用接着剤を用い隣の釘止めしている瓦と十分に接着する。
- (3) カットした瓦で釘止めできる瓦は、釘止めする。
- (4) カットした瓦の傾きや落ち込みは捨て釘等を打ち、レベル調整をする

- (5) 紐三角棟仕様の場合は、高さ60mmの棟補強金物を取付ける。
- (6) 紐三角棟と棧瓦の隙間が開くので、葺き土を充填する。
- (7) 三角棟の留付けは、75mmのパッキン付ステンレスネジを使用する。
- (8) カッポンは、パッキン付ステンレスネジ2本打ちする。

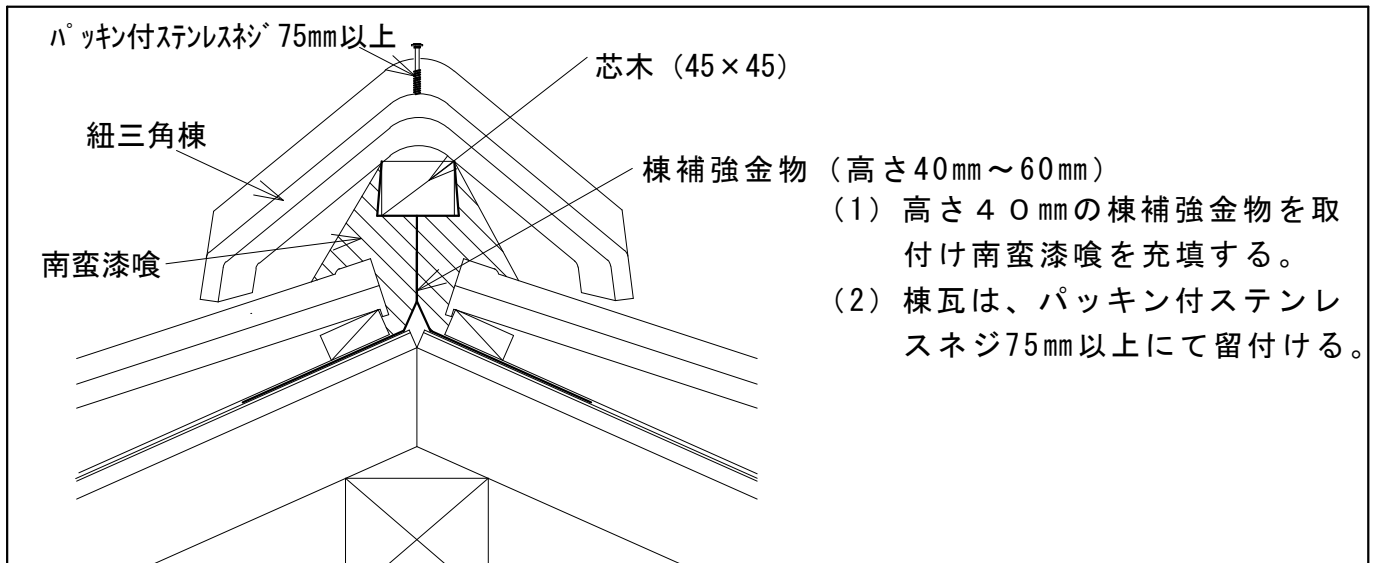


- (9) 紐三角棟の三つ又には、穴が3ヶ所あいているので、最低1つは、ネジにて固定する。その他の部分には、緊結線等で留付ける。すべて、ネジでも可。
- (10) 三つ又の下の部分には、葺き土を充填する。
- (11) 三つ又は、勾配によっては使用できない場合がある。

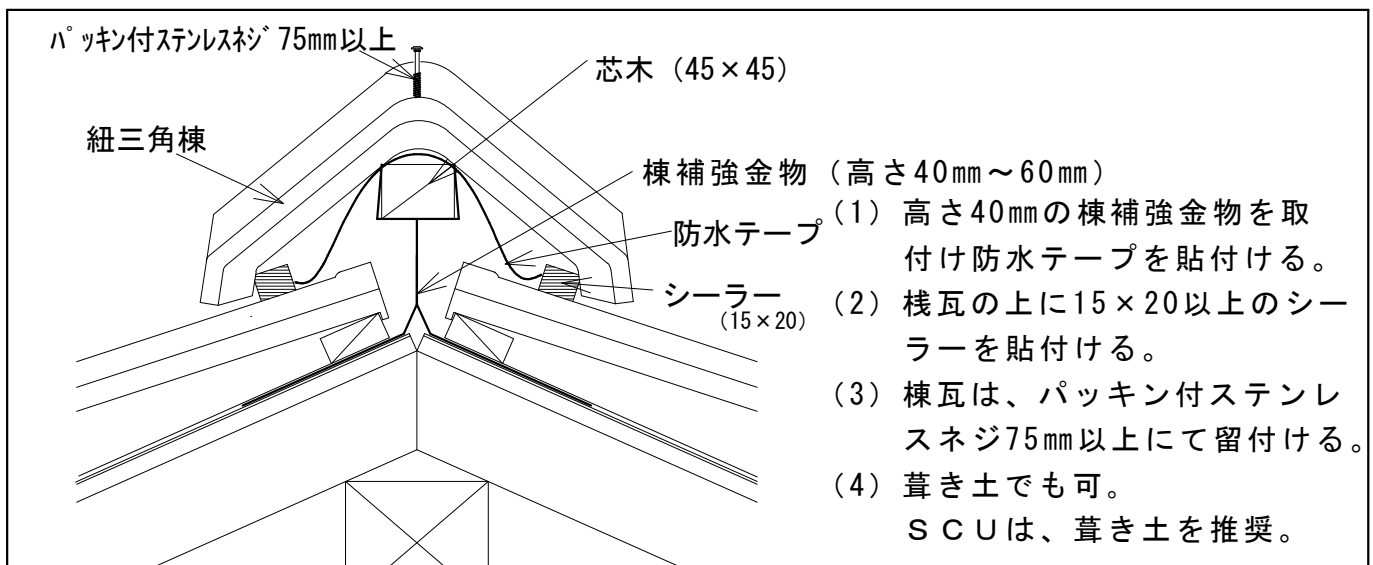
## II. 平板施工

### 4) 屋根材の施工

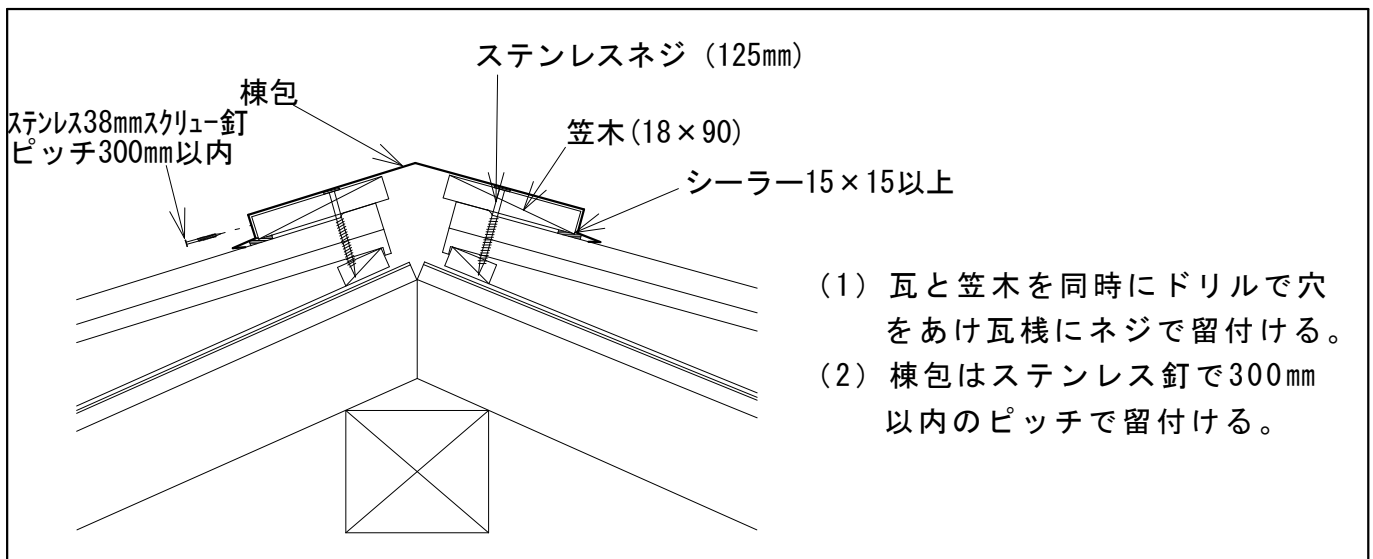
#### ⑧ 陸棟部・同質工法



#### ⑨ 陸棟部・同質工法 (乾式棟)



#### ⑩ 陸棟部・メタル工法 (SCS・SCB)

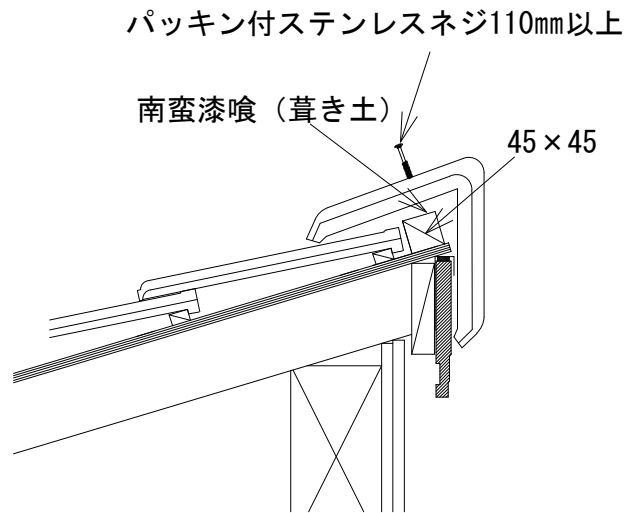
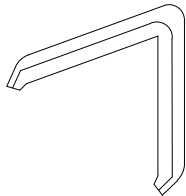


## II. 平板施工

### 4) 屋根材の施工

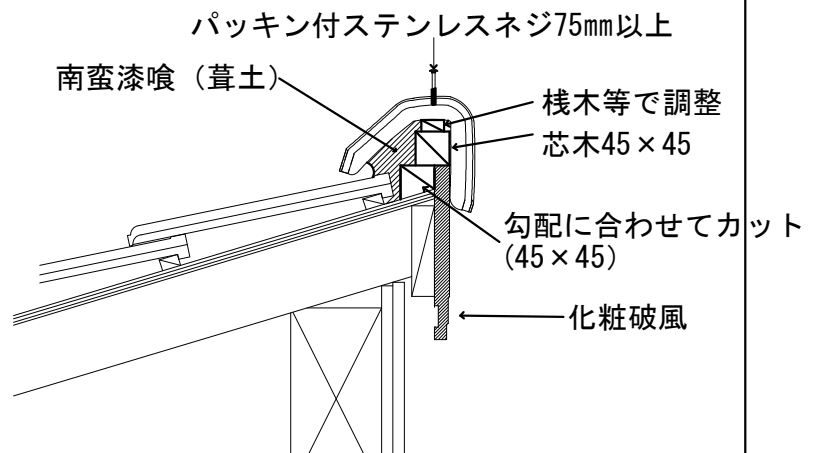
#### ⑪ 片流れ（急勾配棟仕様）

##### 急勾配用棟



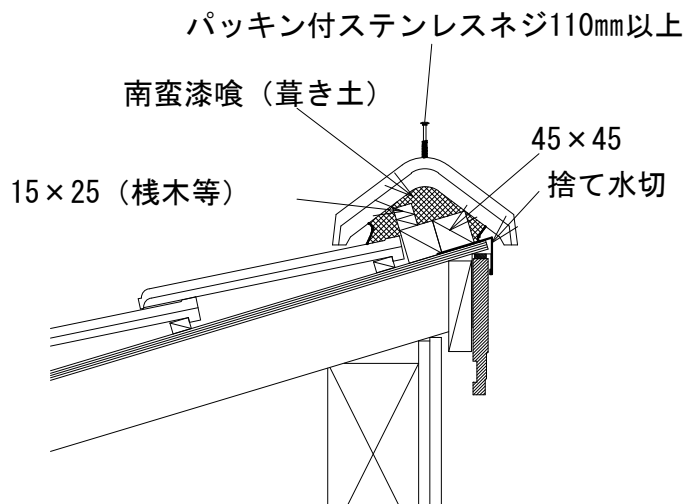
#### ⑫ 片流れ（片流棟仕様）

##### 片流棟



#### ⑬ 片流れ（紐三角棟仕様）

##### 紐三角棟



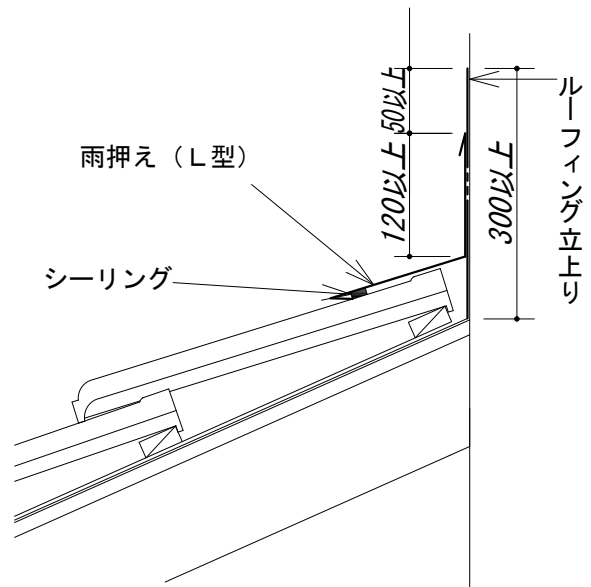
## II. 平板施工

### 4) 屋根材の施工

#### ⑭ 壁際部（平行側）～笠木なし～

笠木なし＜メタル工法推奨＞

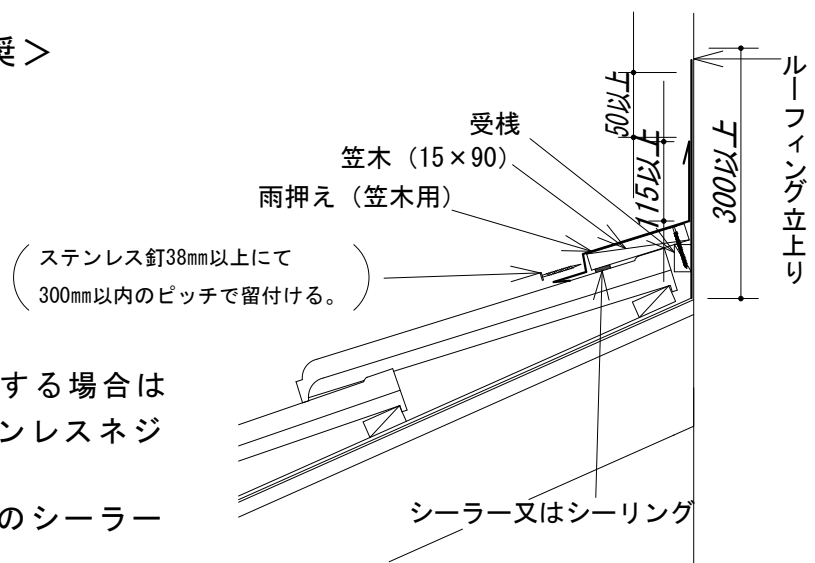
- (1) メタル工法の場合は、右図のような雨押えを使用する。棧瓦と設置面には必ず変成シリコン系接着剤を使用する。



#### ⑮ 壁際部（平行側）～笠木あり～

笠木あり＜同質工法推奨＞

- (1) 笠木を使用し雨押えを施工する場合は受棧を取付け、笠木をステンレスネジにて留付ける。  
(2) SCUの場合は、15×20以上のシーラーにて貼付ける。



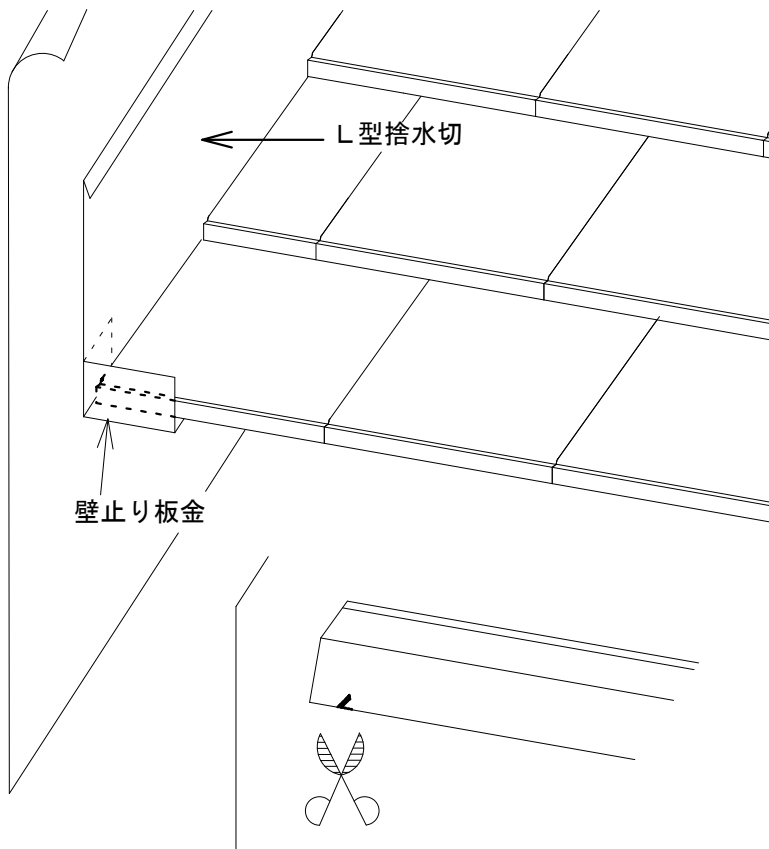
のし積工法も可。

## II. 平板施工

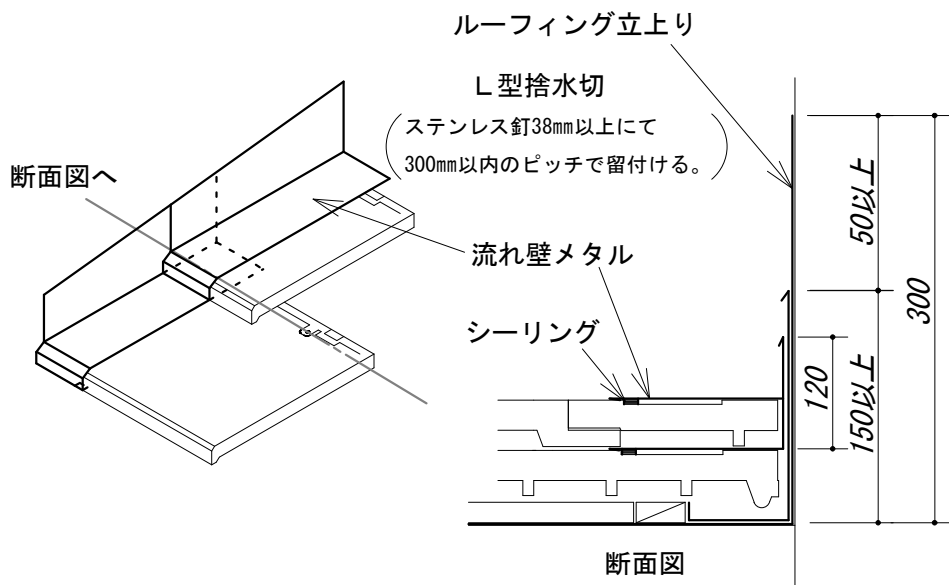
### 4) 屋根材の施工

#### ⑯ 壁際部（流れ側）～流れ壁メタル仕様から

- (1) 流れ壁際部は、ルーフィングの立上りを300mm以上とし、L型捨水切を取付ける。流れ壁メタルは1枚物を使用し、棧瓦との間（隙間）はシーリング処理をする。 ※SCS・SCBのみの仕様です。



- (2) 流れ壁の軒先と壁面との取合いは、壁止役物（130mm角）を使用する。
- (3) 軒先水切は、水の横はしりを防ぐため壁付近で切断する。  
（左図）



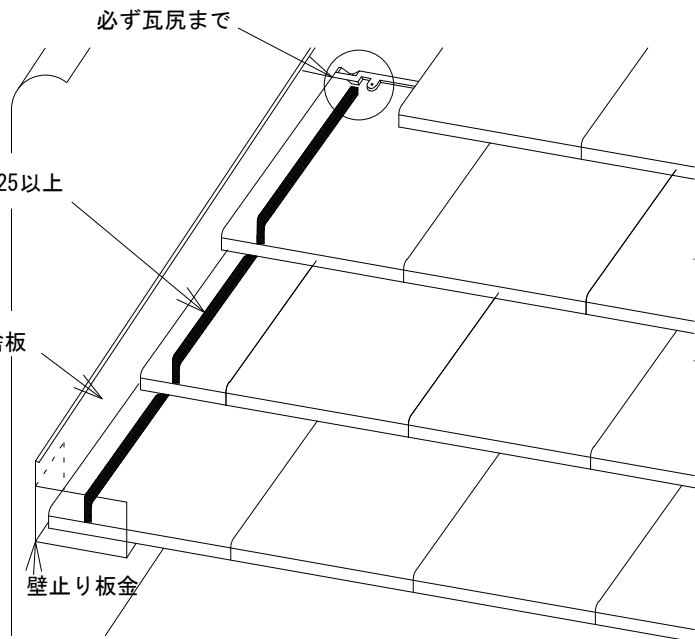
フッ素加工の流れ壁メタルは、受注生産となります。

## II. 平板施工

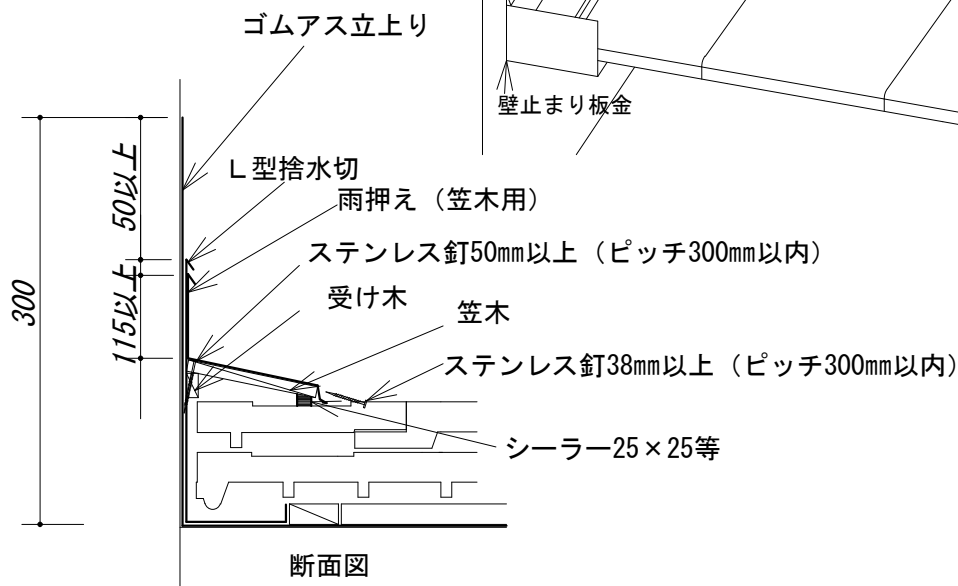
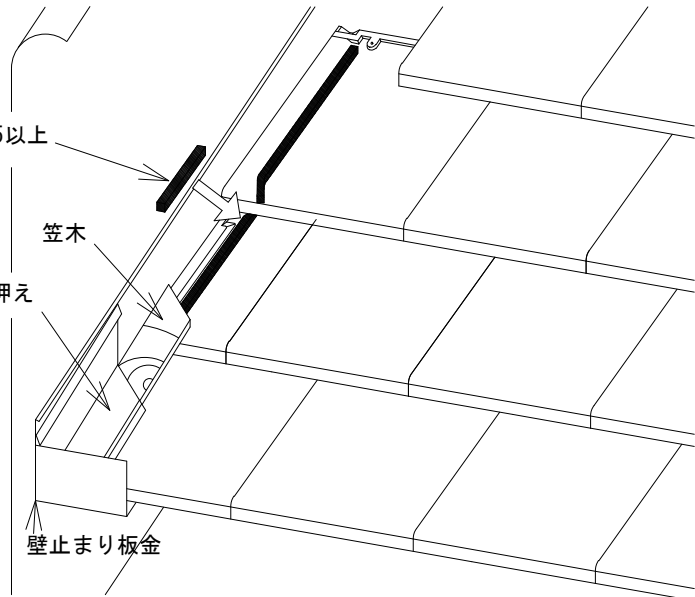
### 4) 屋根材の施工

#### ⑰ 壁際部（流れ側）～雨押え仕様～

- (1) 流れ壁際部は、壁止板金、捨水切を施工後、シーラーを1段毎に貼付ける。（瓦尻まで）  
（葺き土でも可）



- (2) 笠木を受け木に対して、ビス留めし、雨押えを取付ける。  
(3) 瓦の厚みから生じる隙間には、雨押え図のようにシーラーを適当な長さに切り、重ねて貼付ける。

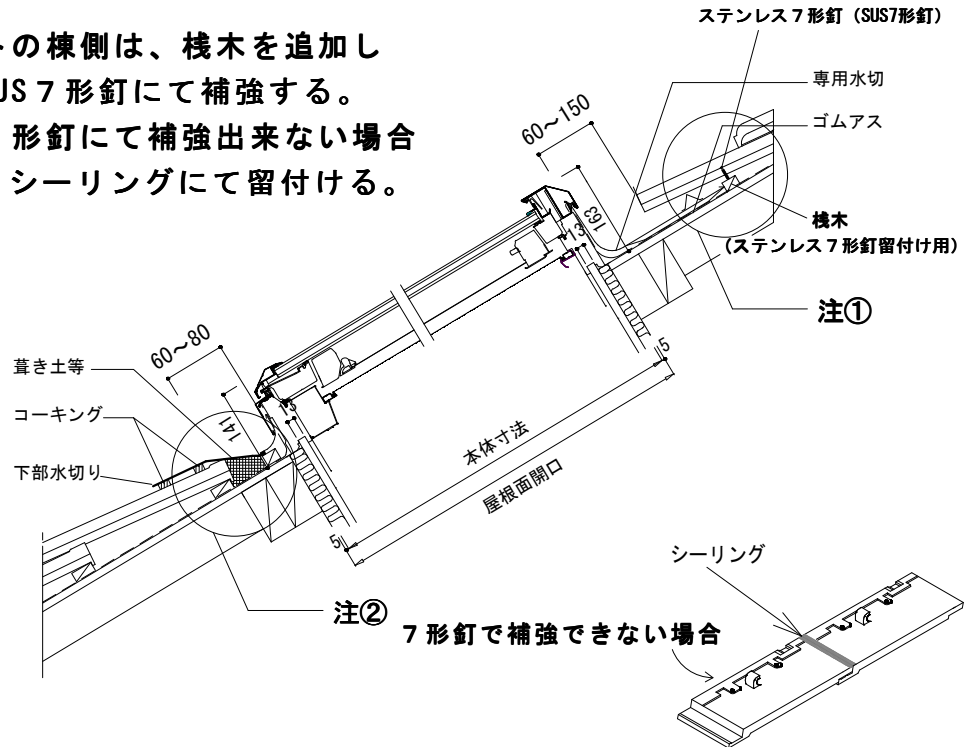


## II. 平板施工

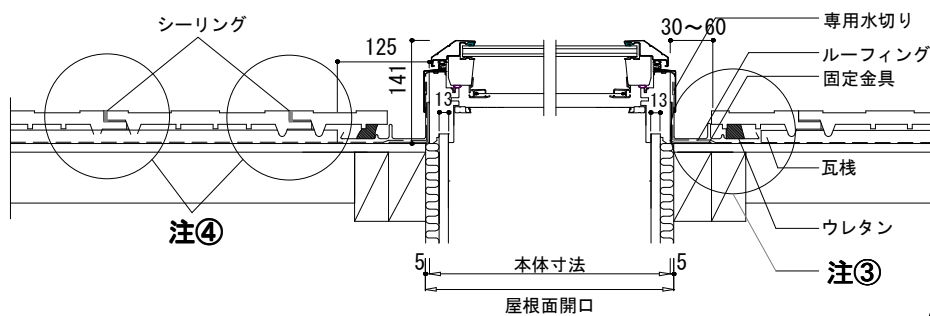
### 4) 屋根材の施工

#### ⑱ トップライト部

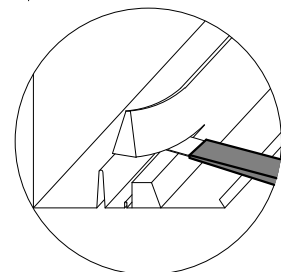
- (1) トップライトの棟側は、桟木を追加し軒先の様にSUS7形釘にて補強する。
- (2) ステンレス7形釘にて補強出来ない場合は、隣の瓦とシーリングにて留付ける。



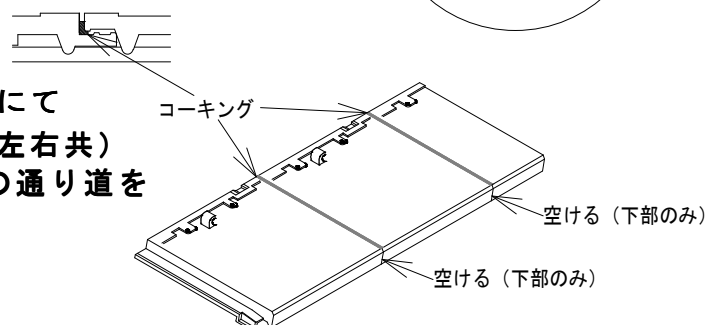
- (3) トップライトの水下側は、瓦とトップライトの間に葺き土又は、材木等にて、勾配をつける。(上図、葺き土等部分)
- (4) 下部水切りは、雨水の逆流、めくり上りを防ぐ為、シーリングにて留付ける。上部と下部、2条。(上図、シーリング部分)



- (5) トップライトサイドのウレタンは、瓦の形状に合わせて、カッター等でカットする。



- (6) トップライトの横の瓦は、銅線等で留付けた後、シーリングにて3枚目まで(2筋)留付ける。(左右共)
- (7) シーリングにて留付ける際、水の通り道を空ける。(右図)



注：下地葺きについては、各種トップライト施工マニュアルに従ってください。



## II. 平板施工

### 4) 屋根材の施工 (SCS・SCB)

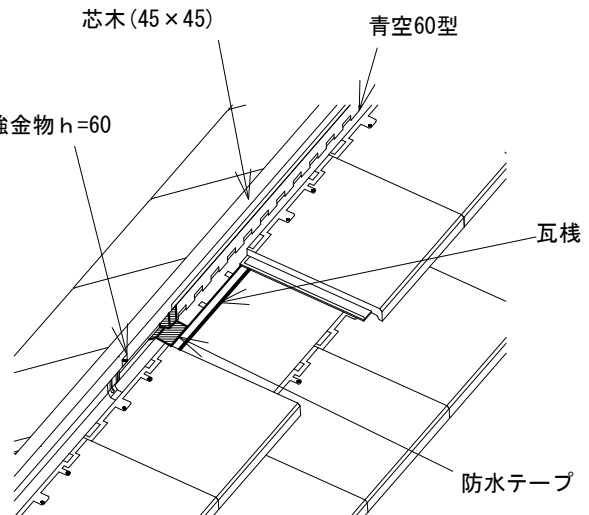
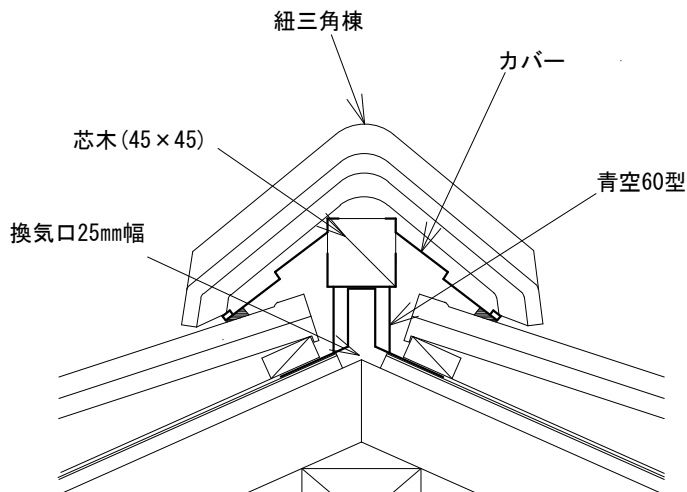
#### ⑱ 換気部分 (内蔵型換気棟) ～青空～ (SCS・SCB)

注：詳細は、片岡瓦工業製、青空の施工説明図をご覧ください。

注：換気口が25mm以上になる場合には、換気部材は換気スターとする。

#### 青空 SCS・SCB同質工法のみ推奨

- (1) 幅25mmの換気口をあけ、青空を取付ける。その後に、瓦棧を打ち、瓦を葺いていく。(上図)
- (2) 45×45の芯木を取付け、カバーを取付ける。青空の端は、防水テープにて防水処理をする。最後に、紐三角棟をパッキン付ステンレスネジで留付ける。



☆有効換気量

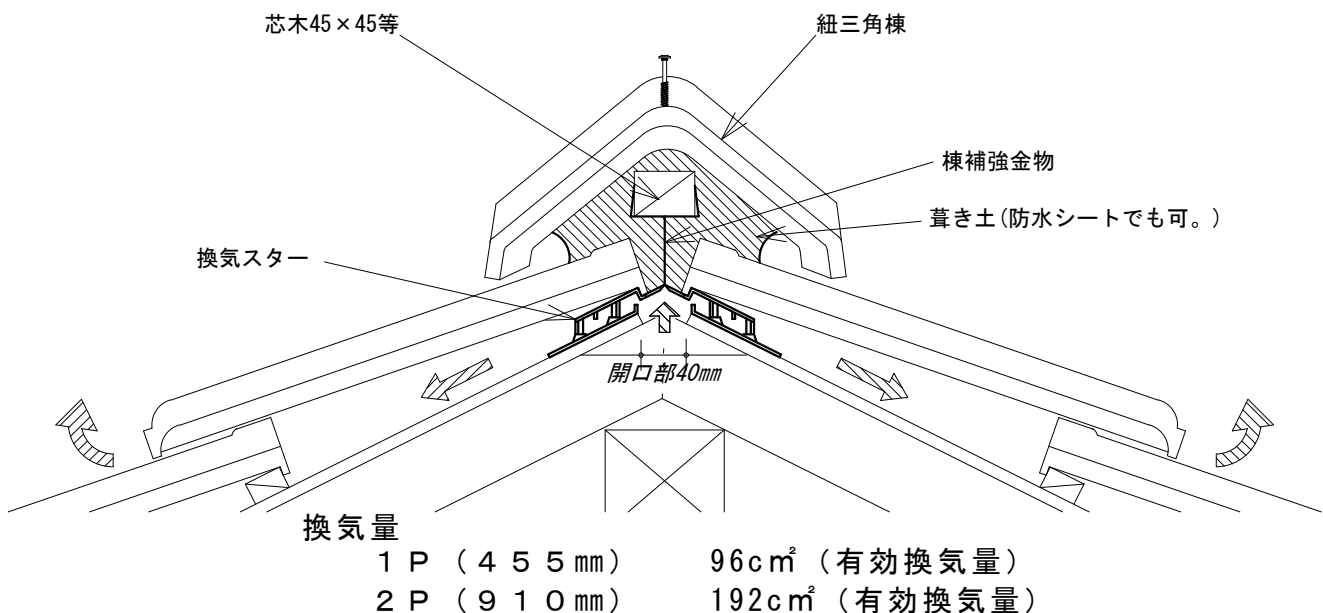
200cm<sup>2</sup>/本 (910mm)

☆在庫なし、個別発送のため運賃が必要です。

#### ⑳ 換気部分 (瓦下換気棟) ～換気スター～

#### 換気スター すべてに適合 (和瓦も含む)

☆アンダーベンツも同様施工



## II. 平板施工

### 4) 屋根材の施工

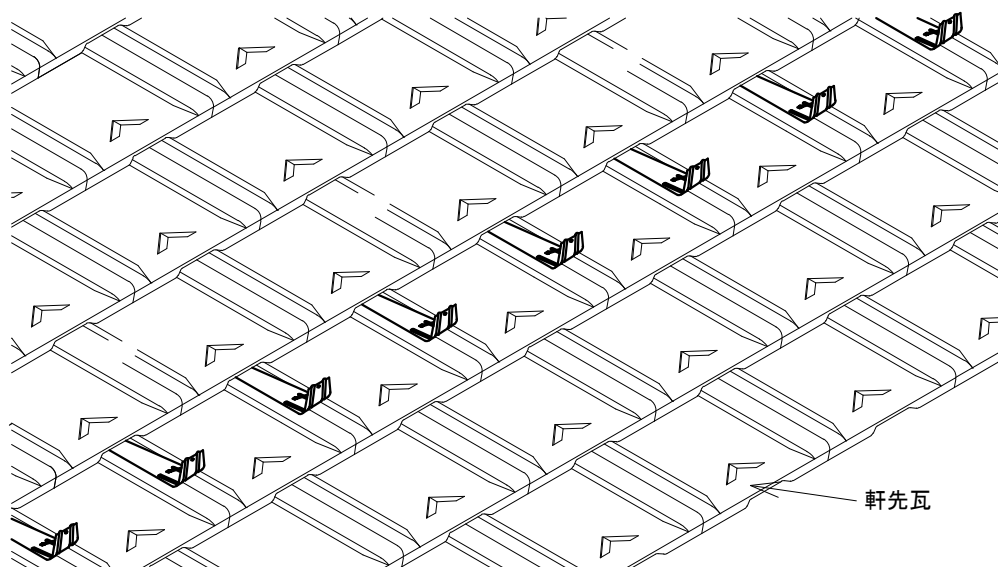
#### 21 雪止め金具の取付 (SCU・SCB)



注：図面はSCB

- (1) 軒先の雪止め金具は、桁の上に来るように取付けてください。
- (2) 千鳥配列でも可。
- (3) 雪止め金具「アルファ」

#### 22 雪止め金具の取付 (SCU)



- (1) 軒先の雪止め金具は、桁の上に来るように取付けてください。
- (2) 千鳥配列でも可。
- (3) 雪止め金具「シャインI型」